

タイ国
工業所有権情報センター協力事業
巡回指導調査団報告書

1998年11月

国際協力事業団

序 文

タイ王国政府は、経済自立促進、経済基盤強化及び産業発展と民生の向上の両立をめざし、1991年10月から始まった第7次経済社会開発5か年計画の中で、タイにおける知的所有権体制の強化に力を注いでいます。

その一環としてタイ国政府は、審査処理能力の強化、工業所有権情報の公衆への普及に資するために、商務省知的財産局の傘下に「工業所有権情報センター」を設立することを計画し、我が国にプロジェクト方式技術協力を要請しました。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団を通じて1994年7月に事前調査団を派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後更に協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣を経て、1995年4月に実施協議調査団を派遣して討議議事録(Record of Discussions: R/D)の署名を行い、本プロジェクトは同討議議事録に基づき、1995年7月1日から5年間にわたり技術協力を実施中です。

今次、プロジェクト開始後、約3年3か月を経過した現時点において、国際協力事業団は、日本側プロジェクト専門家チーム及びタイ側関係者と協議を行い、プロジェクトのこれまでの進捗状況の確認をしたうえで中間評価を行い、及び今後のプロジェクト運営について協議し、技術的な指導・助言等を行うことを主な目的として、1998年10月25日から10月31日まで巡回指導調査団を派遣しました。

本報告書は同調査団の調査結果を取りまとめたものです。ここに本調査団の派遣に関し、ご協力頂いた日・タイ両国の関係者各位に対して深甚の謝意を表するとともに、併せて今後のご支援をお願いする次第です。

1998年11月

国際協力事業団

鉦工業開発協力部部長 谷川和男



✓ M/D署名交換



✓ プロジェクト関係者



✓ 新庁舎

目 次

序 文

写 真

第 1 章 巡回指導調査団派遣 -----	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的 -----	1
1 - 2 調査団の構成 -----	2
1 - 3 調査日程 -----	2
1 - 4 主要面談者 -----	3
第 2 章 調査結果 -----	5
第 3 章 技術協力について -----	19
第 4 章 コンピュータシステムについて -----	21
第 5 章 調査団所見 -----	22
5 - 1 調査の目的 -----	22
5 - 2 協議概要 -----	22
5 - 3 団長所見 -----	23
付属資料	
協議議事録 (M/D) -----	29
参考 運営指導チーム調査報告概要 -----	69

第1章 巡回指導調査団派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

タイ王国においては、第7次国家経済開発計画(1991.10～96.9)において、海外からの技術移転を促進して、国内の技術発展を図り、タイ製品の国際競争力を維持するために、「工業所有権保護強化」が、重要施策の一つとして位置づけられている。

タイ国は、我が国に対して、同国において工業所有権行政全般を所管している知的財産局(DIP)内にコンピュータ化された工業所有権情報システムを持つ工業所有権情報センターを構築し、同センターの活動を通して、DIPの出願を処理する機能の強化、工業所有権情報の公衆への普及を目的とするプロジェクト方式技術協力を要請した。

この要請を受け、我が国は1994年7月に事前調査団、95年1月～2月に長期調査員を派遣して、タイ側の要請内容の把握、プロジェクト実施体制の整備状況調査などを行い、さらに、同年4月には、実施協議調査団が派遣され、R/Dの署名・交換が行われ、5年間にわたる本プロジェクトが開始された。96年6月に計画打合せ調査団を派遣して、長期専門家の増員に関するR/Dの変更を含め、暫定実施計画、技術協力計画の見直しを行った。さらに、97年10月に巡回指導調査団を派遣して、97年度活動に対する要望聴取を行った上で、プロジェクト運営についてタイ側と協議、年次活動計画(Annual Work Plan: AWP)の策定を行った。

1998年8月には運営指導チームを派遣し、中間レビューを実施するにあたり、専門家チームとの間でプロジェクトの協力範囲と内容、技術移転項目、現時点でのプロジェクトの技術移転の達成度について協議することにより、日本側の認識を統一し、活動実績及び投入計画などをより具体的な活動計画(PO)などの計画管理表としてまとめている。

今回の巡回指導調査団は、合同調整委員会にて、運営指導チームにて作成した計画管理表を、日・タイ国の共通の認識として承認し、プロジェクトの現在までの成果の確認、現状の課題・要望を聴取し、中間レビューを行った。さらに、今後の活動に対する要望聴取を行った上で、プロジェクト運営についてタイ側と協議、年次活動計画の策定、M/Dの署名・交換を行うことを主な目的とした。

また、プロジェクトサイトの実地調査、技術的な指導・助言等をとおして、今後のプロジェクト実施のうえでの問題点について調査及び協議を行った。

1-2 調査団の構成

担 当	氏 名	所 属
団 長	渡辺 政嘉	通商産業省通商政策局経済協力部技術協力課課長補佐
技術協力計画	本郷 彰	通商産業省特許庁総務部電子計算機業務課システム計画係長
コンピュータシステム	浅見 新一	財団法人日本特許情報機構システム部開発課主事
プロジェクト協力企画	原田 隆興	国際協力事業団鉱工業開発協力部鉱工業開発協力第二課職員

1-3 調査日程

派遣期間 1998年10月25日（日）～10月31日（土）

日順	月 日	曜	行 程	調 査 内 容
1	10/25	日	①成田→ バンコク (JL717)	移動①(渡辺団長、本郷団員、浅見団員、原田団員)
2	10/26	月		AM: JICA 事務所/打合せ、DTEC/表敬 PM: DIP 局長/表敬
3	10/27	火		DIP との協議
4	10/28	水		AM: DIP との協議 PM: 新庁舎視察
5	10/29	木		DIP との協議、M/D (案) 作成 タイ環境改善自動車燃料プロジェクトとの打合せ (渡辺団長)
6	10/30	金		AM: 合同調整委員会、M/D 署名 PM: JICA 事務所/報告、日本大使館/報告
7	10/31	土	②バンコク→ 成田 (JL708)	移動②(本郷団員、浅見団員、原田団員) タイ生産性向上プロジェクト終了時評価調査団に合流 (渡辺団長)

注: DETC (Office of Prime Minister, Department of Technical and Economic Cooperation) 技術経済協力局
DIP (Department of Intellectual Property, Ministry of Commerce) 商務省知的財産局

同時期に、工業所有権分野プロジェクト連携促進事業調査を実施した。

1 - 4 主要面談者

< タイ側 >

(1) 商務省知的財産局 (DIP)

Mr. Piphat Intarasupht	Director General
Mr. Santi Rattanasuwan	Deputy Director General
Ms. Phinich Mathurapote	Deputy Director General
Mr. Chookiat Krisanaphan	Deputy Director General
Mr. Weerawit Weeraworawit	Assistant Director General
Mr. Banyong Limprayoonwong	Assistant Director General
Mr. Narin Phasuntharatham	Director of Service & Information Division
Mr. Pichet Pentrakul	Director of Information Center of Intellectual Property
Mr. Boonarith Suwannapool	Director of Registration & Document Division
Mr. Somsak Panichayakul	Director of Second Examination Division
Ms. Pajchima Tanasanti	Director of Office of the Secretary
Mr. Pisanu Saksit	Director of Technical & Planning Division
Mr. Surat Tasanawijitwongs	Director of First Examination Division
Mr. Pilun Bhanich Supapol	Deputy Director of Technical & Planning

(2) 技術経済開発局 (DTEC)

Mr. Banchong Amornchewin	Chief of Japan Sub-division External Cooperation DivisionI
Ms. Hataichanok Siriwat	Program Officer of Japan Sub-division External Cooperation DivisionI

(3) 科学技術環境省 (MOSTE)

Ms. Mayuree Pongpudpunth	Director of Scientific and Technological Information Division
Ms. Waraporn Worasaweat	Head of Patent and Standard Information Sub-division Scientific and Technological Information

(4) 商務省 (MOC)

Mr. Mongkol Somkhane	Director of Chantaburi Narunat Institute Ministry of Commerce
----------------------	--

< 日本側 >

(1) 日本大使館

東條 吉朗 一等書記官

(2) JICA タイ事務所

岩口 健二 所長

鷺見 佳高 次長

中本 明男 所員

(3) タイ工業所有権情報センタープロジェクト

岩崎 嘉章 長期専門家 チーフアドバイザー

三浦 義章 長期専門家 業務調整

草野 正二 長期専門家 工業所有権情報

奥野 英幸 長期専門家 コンピュータシステム

平塚 敬一 長期専門家 研修・広報普及

第2章 調査結果

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議結果
1. 暫定実施計画 (TSI) (1) 日本側 専門家派遣 (a) 長期専門家	<p>【1996年度実績】</p> <p>チーフアドバイザー 橋本虎之助 1995.7.1 ~ 97.6.30 業務調整 丸山智恵子 1995.8.7 ~ 98.6.30 工業所有権情報 草野 正二 1995.12.2 ~ 98.12.1 コンピュータシステム 奥野 英幸 1996.2.17 ~ 99.6.30 研修・広報普及計画 和田 秀男 1996.9.9 ~ 98.6.30</p> <p>【1997年度実績】</p> <p>チーフアドバイザー 橋本虎之助 1995.7.1 ~ 97.6.30 岩崎 嘉章 1997.6.20 ~ 99.6.19 (交代)</p> <p>業務調整 丸山智恵子 1995.8.7 ~ 98.6.30 工業所有権情報 草野 正二 1995.12.2 ~ 98.12.1 コンピュータシステム 奥野 英幸 1996.2.17 ~ 99.6.30 研修・広報普及計画 和田 秀男 1996.9.9 ~ 98.6.30</p> <p>【1998年度計画】</p> <p>チーフアドバイザー 岩崎 嘉章 1997.6.20 ~ 99.6.19 業務調整 丸山智恵子 1995.8.7 ~ 98.6.30 三浦 義章 1998.6.30 ~ 00.6.30 (交代)</p> <p>工業所有権情報 草野 正二 1995.12.2 ~ 98.12.1 諏訪 修 1998.11.15 ~ 00.6.30 (交代)</p> <p>コンピュータシステム 奥野 英幸 1996.2.17 ~ 99.6.30 研修・広報普及計画 和田 秀男 1996.9.9 ~ 98.6.30 平塚 敬一 1998.6.16 ~ 00.6.30 (交代)</p>	<p>・各専門家、タイ側より意見を聴取し、現状の問題点を検討する。</p> <p>・1998年度分の現地業務費の執行管理状況帳簿類の整備状況、備品(携行機材)の管理簿等の確認を行う。</p>	<p>・タイ側から専門家の人数、分野は適切であり、長期専門家を信頼しているとの発言があった。</p> <p>・現地業務費、帳簿、備品については、業務調整員が適切に管理しており問題はなかった。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議結果
(b) 短期専門家	<p>【1996年度実績】 計5MM コンピュータエンジニア 長山 淳 1996.4.22 ~ 96.5.11 長山 淳 1996.9.3 ~ 96.10.12 長山 淳 1996.12.1 ~ 96.12.19 長山 淳 1997.2.9 ~ 97.3.15 工業所有権管理 石山 正 1996.12.11 ~ 96.12.14 小池 勇三 1996.12.10 ~ 96.12.15 審査指導(意匠) 渡邊 知子 1997.2.10 ~ 97.2.22 審査指導(特許) 今村玲英子 1997.2.10 ~ 97.3.1 【1997年度実績】 計2.4MM コンピュータエンジニアリング 山崎 実 1997.7.28 ~ 97.8.2 山崎 実 1998.3.16 ~ 98.4.4 佐藤 慎二 1998.3.23 ~ 98.4.4 審査実務指導 中村 達之 1997.12.1 ~ 97.12.14 富永みどり 1998.2.16 ~ 98.2.28 工業所有権普及指導 山崎 亨 1998.3.23 ~ 98.4.4 【1998年度計画】 MM コンピュータエンジニアリング (インターネット関係技術)(済) 山崎 実 1998.7.13 ~ 98.7.23 小林 勇人 1998.7.13 ~ 98.7.25 コンピュータエンジニアリング (システム開発管理)2名 1998.10.1 ~ 98.10.31 1998.12.1 ~ 98.12.31 コンピュータエンジニアリング (データベース管理技術)1名 1999.3.1 ~ 99.3.31 コンピュータエンジニアリング (先行技術調査)1名 1999.3.1 ~ 99.3.31 審査技術 3名程度 (機械一般、電気、無機化学) 1999.2 ~ 99.3頃</p>	<p>・1998年度の派遣人数、期間、時期について先方の要望を聴取する。 ・具体的業務内容とその必要性について聴取する。</p>	<p>・今年度供与機材であるソフトウェアの調達を現地調達から本邦購送としたこと、また、諸般の事情による調達の遅れのため、1998年度 コンピュータエンジニアリングを1名とし、かつ、の派遣時期を後ろ倒しとした。変更点は以下のとおり。 コンピュータエンジニアリング(システム開発管理)1名 1999年2月から99年3月頃、1か月 コンピュータエンジニアリング(データベース管理技術)1名 1999年5月から99年6月、1か月 コンピュータエンジニアリング(先行技術調査)1名 1999年5月から99年6月、1か月</p>
研修員受入れ	<p>【1996年度実績】 工業所有権行政(2名) 1996.10.10 ~ 96.11.16 システム開発(2名) 1996.10.10 ~ 96.11.16 【1997年度実績】 特許情報運営管理(2名) 1997.9.2 ~ 97.10.19 コンピュータシステム(2名) 1997.9.2 ~ 97.10.19 ・研修員は関係者に報告を行っている。 【1998年度計画】 特許情報運営管理(1名) 1999.1 ~、3週間程度 コンピュータシステム(2名) 1998.10 ~、1か月程度</p>	<p>・1997年度の研修成果の移転方法について聴取する。(帰国報告会、報告書作成などについて聴取する。)</p>	<p>・タイ側から、本年度3名は適切であり、来年度は、審査技術短期専門家を4~5人程度希望するとの発言があった。 ・タイ側から、研修受講者は、帰国後、局長に報告し、職員に対しデモも行っており、局内での配置転換もないとの説明があった。局内の審査官がコンピュータを使えるようになったとの成果もあがっているとのこと。 ・タイ側から、来年度も3名程度の希望があった。物理分野及び化学分野の審査技術、コンピュータシステム開発の希望があった。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議結果
機材供与	<p>【1996年度実績】 5,100万円</p> <p>サーバーマシン用アプリケーションパッケージ 1式</p> <p>特許検索用機材 23式</p> <p>ネットワーク構成用機材 1式</p> <p>機材設計試料改良費</p> <p>【1997年度実績】 9,900万円</p> <p>インターネット支援用サーバー3式</p> <p>CD-ROMジュークボックス(PAJ用) 1式</p> <p>特許検索用端末 9式</p> <p>LAN 構成品 1式</p> <p>インターネットシステム 1式</p> <p>検索機能強化 1式</p> <p>蓄積機能強化 1式</p> <p>IPライブラリー 1式</p> <p>【1998年度計画】 3,000万円</p> <p>データエントリー機能強化パッケージ 1式</p> <p>CD-ROMジュークボックス(欧州用) 4式</p> <p>【1999年度計画】</p> <p>・タイ側がインターネット強化パッケージ(インターネットの利用性向上)及びスペアパーツを希望することが予想される。</p>	<p>・タイ側の据え付け措置について確認する。</p> <p>・機材の維持管理経費について、タイ側に引き続き確保するよう申し入れる。</p> <p>・各機材について利用実績を確認する。</p> <p>・インターネット自国文献検索の利用状況(現在、ホームページへの接続は比較的堅調)、利用者のニーズ及び要望を考慮してパッケージ導入の可否及びその仕様を決めるべきことを伝える。</p>	<p>・適切であり特に問題はなかった。</p> <p>・来年度の予算のメンテナンス費用を約40%増額しており機材維持に対する努力がうかがわれた。</p> <p>・おおむね良好であった。</p> <p>・ホームページには10月12月以来2週間で1,300件のアクセスありとの説明があった。</p> <p>・M/D Annex Xにあるとおり、タイ側からインターネットサービスの改良ソフトウェアと、サーバーのスペアパーツの要望があった。インターネットサービスの改良ソフトウェアを希望する理由としては、ユーザーからシステムの機能が十分でないといったクレームが多数寄せられたためとの説明があった。スペアパーツについては、破損しやすい必要最小限のものであるとの説明があった。</p>
(2) タイ側 建物建設等 プロジェクト サイトの基盤 整備	<p>・新庁舎への移転が、1999年1月～2月に予定されている。・8月の運営指導においては、移転によるシステムの停止を3日間とすることを確認している。</p>	<p>・移転予定について確認するとともに、移転するのであればプロジェクト活動に支障のないように行うよう申し入れる。</p> <p>・移転費用については、タイ側が負担することを再確認する。</p> <p>・今後の供与機材の輸送に影響が生じ得ることを伝える。</p> <p>・各専門家に、機材を移転する際の注意事項の作成と、移転の際に注意を要する機材のリストアップを依頼する。</p> <p>・改善すべき点があれば申し入れる。</p>	<p>・タイ側から、M/D Annex X V I I I のとおりのスケジュールの提出があった。5月中には終了の見込み。・新庁舎は建設がほぼ終了し、LAN設備などの配置を残すのみ。</p> <p>・タイ側から、移転費用についてはタイ側が負担し、商務省全体で2900万パーツ、うちDIPの建設費に750万パーツが割り当てられており、その他配線移転費用などに230万パーツ確保しているとの説明があった。</p> <p>・タイ側から、システムによるサービスの停止は1週間程度であるが可能な限り短かくするとの説明があった。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議結果
<p>(1) 詳細</p> <p>3. 活動計画 (PO)</p> <p>4. 年次活動計画 (APO)</p>	<p>【1996年度実績】</p> <p>1-1 スタンドアローン CD-ROM を用いた外国特許文献の検索システムの導入</p> <p>1-2 その他のアプリケーションパッケージ</p> <p>2-1 工業所有権情報システムの詳細設計</p> <p>2-2 自国文献のイメージ入力システム</p> <p>2-4 自国特許文献のネットワークによる検索システム (DIP 内 LAN)</p> <p>2-5 MOSTE へのサービス延長</p> <p>3-1 自国特許文献蓄積システムの据付け・調整</p> <p>3-2 自国特許入力システムの据付け・調整</p> <p>3-3 自国特許文献データ管理</p> <p>3-4 ハードウェアの管理レポート (ソフト・提案のみ)</p> <p>3-5 トラブル対策 (研修済み)</p> <p>4-1 センターの組織化</p> <p>4-2 センター運営上の規則作成</p> <p>5-1 公衆に対する情報システムのための端末操作の講習</p> <p>【1997年度実績】</p> <p>自国特許文献ネットワークの検索技術</p> <p>日本特許情報のデータ管理</p> <p>ネットワークにおけるトラブル対策</p> <p>端末使用者のトラブルのアナウンス (システム上トラブル箇所連絡)</p> <p>端末操作の規則作成</p> <p>公衆に対する情報システムのための端末操作の講習</p> <p>【1998年度計画】</p> <p>インターネットによる自国文献情報提供</p> <p>PAJ ネットワークの検索技術</p> <p>・ 8月の運営指導にて、協力期間の枠組みを専門家チームとの間で作成している (別添 2)。</p> <p>・ 活動項目を細分化し、担当 C/P とスケジュールを一つの表にまとめた。</p> <p>・ 8月の運営指導にて、1998年度の枠組みを専門家チームとの間で作成している (別添 3、4)。</p>	<p>・ 1.2. の協議結果を踏まえ、日本側案をタイ側提示し、協議する。</p> <p>・ 1.2. の協議結果を踏まえ、日本側案をタイ側に提示し、協議する。</p>	<p>・ 概要について説明し、先方の理解を得た。・別添 2 参照。</p> <p>・ 概要について説明し、先方の理解を得た。・別添 3、4 参照。</p>

調査項目	現状及び問題点	対処方針	協議結果
5.PDM	<ul style="list-style-type: none"> ・1997年度巡回調査にて、PDMを作成している。 ・8月の運営指導にて、専門家チームとの間で、昨年度作成のPDMのプロジェクト概要のみを修正し、タイ側に提示した。PDM案のプロジェクト概要は、R/Dのマスタープランを具体化して作成したこと、マスタープランの変更は行わないことをタイ側と確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側PDM案(プロジェクト概要以外の部分についても修正したもの)(別添4)をタイ側に提示し、協議する。マスタープランのプロジェクト目標は2つ(DIPの審査能力の向上、タイ公衆の工業所有権情報に対するアクセスの改善)であるがPDMでは一つ(工業所有権情報利用に係る能力の向上)にまとめた。必要ならば、M/D本文に注釈を入れることを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概要について説明し、先方の理解を得た。 ・プロジェクト目標については特に先方は異存なかった。 ・別添5参照。
6. 中間レビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の運営指導にて、技術移転達成度評価表を専門家チームとの間で作成した。活動項目を細分化し、担当C/P、現在の達成度、目標とする達成度及び達成時に得られる成果品(PDMの指標となるもの)を一つの表にまとめた(別添6)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側案をタイ側に提示し、協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概要について説明し、先方の理解を得た。
7. ローカルコスト支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度アジア緊急支援対策により、タイ側負担のローカルコストを援助している。 工業所有権データベース構築支援経費 600万5,000円 広報活動への支援経費(セミナー開催) 100万円 ・本支援により、登録済データのスキヤニングについては終了する見込みである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側としては、最大限のローカルコスト援助を行ったことを説明する。残りのローカルコストについては、先方が確実に負担するよう申し入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイ側から、新庁舎移転前には、スキヤニングを終了するとの説明があり、当方としても確実に執行するよう申し入れた。 ・データスキヤニングの進捗状況については別添7参照。

(別添1)

DIP FISCAL YEAR 1997 - 1999 BUDGET

		1997 (OCT. 96 - SEPT.97)	1998 (OCT. 97 - SEPT.98)	1999 (OCT. 98 - SEPT.99)
	TOTAL Budget	137.00	112.00	127.00
1	Concerning Computer	11.00	8.00	9.50
	1.1 IPIC System	7.00	5.00	6.50
	1.1.1 Maintenance		2.90	4.00
	1.1.2 ISP (Internet Service Provider)		1.40	1.40
	1.1.3 Leased Line		0.10	0.10
	1.1.4 Data Entry		0.60	1.00
	1.2 DIP System	4.00	3.00	3.00
	1.2.1 Maintenance		2.70	2.50
	1.2.2 Others		0.30	0.50
2	Others	126.00	104.00	117.50

: Million Bahā

活動計画表 (PO)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	活動 (小項目)	CPI氏名	スケジュール (日本千禧年度)												投入					
				95			96			97			98			99			長期	短期	研修
				I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV			
プロジェクトの組織運営体制が整備される	必要な人員を配置する																				
	活動計画を策定する																				
必要な機材が整備され適切に維持管理される	機材の調達計画を作成する																				
	機材を搬入・整備する																				
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	業務実態を把握する	Mr. Pichet																		
		問題分析と解決方法を検討する	Mr. Vichaya																		
		システムを企画立案する	Mr. Somsak																		
		意思決定に係る組織を運営する	Ms. Ormsuang																		
		概要システムイメージを策定する	(Mr. Verasak)																		
	システムの開発を管理する	全体スケジュールを作成する	(Mr. Chaiyon)																		
		各種基礎数値を算出する	(Ms. Onsiree)																		
		処理労力等を分析・整理する																			
		開発費用・期間、ソフトウェアを作成する																			
		ハード機材及びソフトウェアの概要を設計する																			
	システムを運用する	概要設計をベースにユーザニーズを把握調整する																			
		詳細設計書を作成させる																			
		進捗・仕様を管理を行う	Mr. Pichet																		
		受入テストを行う	Mr. Vichaya																		
		日常のオペレーションを行う	Mr. Somsak																		
システムを保守する	ハードの定期保守を管理する	Ms. Ormsuang																			
	ハード・ソフトの異常時の一次対応を行う																				
	ハード・ソフトの異常時保守を管理する																				
	ソフトの機能拡張を管理する																				
	コンピュータに関する技術を得得する																				
工業所有権データベースを管理する	ソフトウェアに関する技術を得得する																				
	OSについての技術を得得する																				
	データベースに関する技術を理解する																				
	LANについての技術を理解する																				
	通信方式についての技術を理解する																				
	CD-ROMソフトウェアについての技術を得得する																				
	サーバ並びに周辺機器に関する技術を理解する																				
	インターネット通信技術を得得する																				
	WEBサーバに関する技術を得得する																				
	FIREWALLサーバに関する技術を得得する																				
システムを用いた検索技術を行う	データベースの構築技術を得得する	Mr. Somchai																			
	データベースの管理技術を得得する	Mr. Pattanasak																			
	検索PCの操作技術を得得する	Mr. Verasak																			
	先行技術調査を行う	Mr. Chaiyon																			
	国際特許分類を理解する	Mr. Vichit																			
	効果的な検索式の作成技術を得得する	Mr. Chanchai																			
	PAJソフト70%の検索技術を得得する																				
	日文版ソフトウェアの検索技術を得得する																				
	PAJソフトウェアの検索技術を得得する																				
	欧州文献の検索技術を得得する																				
工業所有権情報の普及・広報を行う	システムを用いた審査技術を得得する																				
	工業所有権情報を啓蒙する	Ms. Onsiree																			
	各種工業所有権情報の性質を理解する																				
	工業所有権情報の活用方法を得得する																				
その他の活動	IPCシステムを用いて工業所有権情報の普及・広報を行う																				
	IPC操作技術を理解する																				
	DIPシステムを用いて工業所有権情報を普及する																				

注: スケジュール = OFFJT (説明会実施、トレーニング等)、= ONJT、- :アフターフォロー
 長期 (専門家)、短期 (専門家)、研修 ○-主体、○-補完
 CPI氏名 () は、ユーザー代表として参加することを示す

年次活動計画表 (APO)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	投入	スケジュール (日本予算年度)											
			'98											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
プロジェクトの組織運営体制が整備される	必要な人員を配置する													
	活動計画を策定する													
	予算計画を策定し、適切に実行する													
必要な機材が整備され適切に維持管理される	機材の調達計画を作成する	機材					=	=	=	=	=			
	機材を据え付け整備する	機材				≡							≡	
	機材を維持管理する	機材	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	システムの開発を管理する	長専 短専	=	≡	≡	≡	=	=	=	=	=	=	≡	
	システムを運用する	長専 短専	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	≡	
	システムを保守する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	≡	=	≡	
	コンピュータに関する技術を習得する	長専 短専	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	≡	
	工業所有権データベースを管理する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	≡	
	システムを用いた検索技術を行う	検索PCの操作技術を習得する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
先行技術調査を行う		長専 短専	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	≡	
システムを用いた審査技術を習得する		長専 短専											≡	
工業所有権情報の普及広報を行う	工業所有権情報を啓蒙する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う	長専 短専	=	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	
	セミナーを開催・運営する	長専 短専					=	=	=	=	=	=	=	
	IPライブラリーを運営・管理する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	

年次活動計画表 (APO)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	投入	スケジュール (日本予算年度)												
			'99												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
プロジェクトの組織運営体制が整備される	必要な人員を配置する														
	活動計画を策定する														
	予算計画を策定し、適切に実行する														
必要な機材が整備され適切に維持管理される	機材の調達計画を作成する	機材													
	機材を据え付け整備する	機材												≡	
	機材を維持管理する	機材	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	-	-	-	-	-	-	
	システムの開発を管理する	長専 短専	=	=	=	≡	=	=	≡	≡	=	=	≡	≡	
	システムを運用する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	システムを保守する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	コンピュータに関する技術を習得する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	工業所有権データベースを管理する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	システムを用いた検索技術を行う	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
システムを用いた検索技術を行う	先行技術調査を行う	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	≡	
	システムを用いた審査技術を習得する	長専 短専							≡					≡	
	工業所有権情報の普及広報を行う	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
工業所有権情報の普及広報を行う	IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う	長専 短専	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	=	=	
	セミナーを開催・運営する	長専 短専	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	IPライブラリーを運営・管理する	長専 短専	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

協力期間：1995年7月1日から5年間
 日本側実施機関：JICA
 相手国側実施機関：DIP（タイ知的財産局）
 対象地域：タイ王国
 ターゲットグループ：DIP

タイ工業所有権情報センタープロジェクトに係わるPDM

プロジェクト概要	指標	データ入手手段	外部条件
上位目標 知的財産局(DIP)の工業所有権行政に係る能力が向上する	1.出願処理等の件数 2.主な外部ユーザーの満足度	1.統計データ(出願数、審査請求件数、未処理件数、処理件数) 2.主な外部ユーザー(法律事務所及び研究機関)に対する質問書、インタビュー	タイ政府の知的財産所有権に係る方針に大きな変化がない
プロジェクト目標 DIPの工業所有権情報システムの活用に係る能力が向上する	1.先行技術調査の実施状況 2.工業所有権技術情報の活用状況	1.DIP審査官への質問書、インタビュー 2.主な外部ユーザー(法律事務所及び研究機関)に対する質問書、インタビュー	1.タイDIPの工業所有権制度に大きな変更がない。 2.DIPにおける工業所有権審査官の数と質が低下しない
成果 0. プロジェクトの組織運営体制が整備される 1. 必要な機材が整備され、適切に維持管理される 2. C/Pが工業所有権情報システムの構築、運用、保守管理ができるようになる 3. C/Pが工業所有権情報システムを用いた先行技術調査ができるようになる 4. C/Pが工業所有権情報システムを用いた工業所有権情報普及ができるようになる	0. スタッフの配置状況、年間計画、予算措置 1. 資機材の使用・管理状況 2-1. システムの保守管理状況 2-2. マニュアルの整備状況 3. システムの利用状況 4-1. トレーニング等の開催実績 4-2. IPIC一般用端末利用者数 4-3. IPライブラリー管理状況	0. 組織表、計画書、予算書類 1. 機材管理台帳 2-1-1. 仕様書 2-1-2. システム開発ガイドライン 2-1-3. システム保守実施台帳 2-2. マニュアル 3-1. カウンタパートへのインタビュー 3-2. 審査官用マニュアル 4-1. トレーニング記録、参加者リスト、配布資料、講習会資料 4-2-1. 利用者記録簿 4-2-2. 外部ユーザーマニュアル 4-3. 文献管理リスト	-技術を身につけたC/Pが人事異動や離職をしない。 -供与されたハードウェア、ソフトウェアがコンピュータ分野の技術革新により急速に陳腐化しない。

タイ工業所有権情報センタープロジェクトに係わるP.D.M

活動	投入		1.タイ国家財政が著しく悪化しない。 2.各国の工業所有権情報が継続的に入手できる
	日本側	タイ側	
0-1. 必要な人員を配置する			(前提条件) 電気・通信インフラが整備される
0-2. 活動計画を策定する			
0-3. 予算計画を策定し、適切に実行する			
1-1. 機材の調達計画を作成する	(1)専門家派遣	(1)C/Pの配置 13名	
1-2. 機材を貸し付け整備する	・長期専門家 5名	工業所有権情報 8名	
1-3. 機材を維持管理する	・アドバイザー	システム開発 5名	
2-1. システム化計画を策定する	業務調整	(2)建物・施設	
2-2. システムの開発を管理する	工業所有権情報	専門家執務室の提供	
2-3. システムを運用する	コンピュータシステム	プロジェクト建屋 等	
2-4. システムを保守する	研修・広報普及	(3)機材	
2-5. C/Pがコンピュータに関する技術を取得する	・短期専門家 のべ22名	(4)ローカルコスト	
2-6. 工業所有権データベースを管理する	(2)研修員受入れ 12名		
3-1. C/Pが検索PCの操作技術を取得する	(3)機材供与 約240,000千円		
3-2. 先行技術調査を行う	(4)ローカルコスト支援 7,005千円		
3-3. C/Pがシステムを用いた審査技術を取得する			
4-1. 工業所有権情報を啓蒙する	(平成10年10月まで)		
4-2. 工業所有権情報システムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う			
4-3. センターを開設・運営する			
4-4. IPライブラリを運営・管理する			

技術移転達成度評価表

活動 (大項目)	活動 (中項目)	活動 (小項目)	CP氏名	現在 達成度 (0-5)	目標 達成度 (0-5)	成果品	
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	業務実態を把握する	Mr. Pichet	2	3	(システム開発) 作'う	
		問題分析と解決方法を検討する	Mr. Vichaya	2	3	(システム開発) 作'う	
		システムを企画立案する	Mr. Somsak	2	3	(システム開発) 作'う	
		意志決定に係る組織を運営する	Ms. Ormsuang	2	3	(システム開発) 作'う	
		概要システムイメージを策定する	(Mr. Verasak)	2	3	(システム開発) 作'う	
		全体スケジュールを作成する	(Mr. Chaiyon)	2	3	(システム開発) 作'う	
		各種基礎活動を実施する	(Ms. Onsiroc)	2	3	(システム開発) 作'う	
		処理能力等を分析・整理する		2	3	(システム開発) 作'う	
		開発費用、期間、スケジュールを作成する		2	3	(システム開発) 作'う	
		ハード機材及びソフト機材の概要を設計する		2	3	(システム開発) 作'う	
	システムの開発を管理する	概要設計をペーシユイニシを把握調整する		2	3	(システム開発) 作'う	
		詳細設計書を作成させる		2	3	(システム開発) 作'う	
		進捗・仕様の管理を行う	Mr. Pichet	2	3	(システム開発) 作'う	
		受入テストを行う	Mr. Vichaya	2	3	(システム開発) 作'う	
		システムを運用する	日常のオペレーションを行う	Mr. Somsak	3	3	(システム開発) 作'う、システム
			ハードの定期保守を管理する	Ms. Ormsuang	3	3	(システム開発) 作'う
		システムを保守する	ハード・ソフトの異常時の一次対応を行う		2	3	(システム開発) 作'う、システム
			ハード・ソフトの異常時保守を管理する		2	3	(システム開発) 作'う
		コンピュータに関する技術を習得する	ネットワークに関する技術を習得する		2	3	システム
			OSについての技術を習得する		2	3	システム
データベースについての技術を理解する			0.5	1	システム		
LANについての技術を理解する			1	1	システム		
通信方式についての技術を理解する			1	1	システム		
CD-ROMシミュレーションについての技術を習得する			1	3	システム		
並びに磁気ディスク機器に関する技術を理解する			1	1	システム		
ネットワーク通信技術を習得する			1	3	システム		
WEBサーバに関する技術を習得する			1	3	システム		
FIREWALLサーバに関する技術を習得する			1	3	システム		
DNSサーバに関する技術を習得する			1	3	システム		
工業所有権データベースを管理する	データベースの構築技術を習得する		Mr. Somchai	2	3	システム	
	データベースの管理技術を習得する		Mr. Pattanasak	2	3	システム	
システムを用いた検索技術を行う	検索PCの操作技術を習得する		Mr. Verasak	4	5	ユーザ	
	先行技術調査を行う		Mr. Chaiyon	4	5	講習会資料	
	特許分類を理解する	Mr. Vichit	3	5	講習会資料		
	効果的な検索式の作成技術を習得する	Mr. Chanchai	2	5	講習会資料		
	PAJ及びTOLの検索技術を習得する		3	5	ユーザ		
	対文献ワークの検索技術を習得する		3	5	ユーザ		
	PAJワークの検索技術を習得する		2	5	ユーザ		
	欧州文献の検索技術を習得する		0	5	ユーザ		
	システムを用いた審査技術を習得する	技術分野特有のノウハウを理解する		0.5	1	講習会資料	
		工業所有権情報を啓蒙する	Ms. Onsiroc	2	3	IP-開成記録、パフレット	
工業所有権情報の普及広報を行う	工業所有権情報の活用方法を習得する		2	3	IP-開成記録、パフレット		
	工業所有権情報サービスの現状を理解する		2	3	IP-開成記録、パフレット		
	IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う		2	3	ユーザ		
	DIP内システムを用いて工業所有権情報を普及する		2	3	ユーザ		
	イントラを用いて工業所有権情報を普及する		1	3	ユーザ		
	その他の活動	セミナー開催・運営する		2	3	IP-開成記録、パフレット	
	IPリストを運営・管理する		2	3	文獻管理リスト		

註：達成度 0：未実施、0.5：専門家が実施、CPが内容理解不十分、1：専門家が実施、CPが内容理解、2：専門家の指導下CPが実施可能、3：専門家の指導無しでCPが実施可能、4：専門家の指導下CPが技術指導、5：専門家の指導無しでCPが技術指導
 (目標達成度は、活動の内容によって設定されるものであり、必ずしも、達成度レベルの高低を示すものではない)
 成果品 () は作成予定のもの
 CP氏名 () は、ユーザー代表として参加することを示す

(別添6)

Scanning Job for IPIC Project

1. Publication

	Number	Scanned	Remained
Invention	24,000	20,200	3,800
Design	6,000	5,800	200
Total	30,000	26,000	4,000

2. Granted Application

	Number	Scanned	Remained
Invention	4,300	4,000	300
Design	4,200	2,800	1,400
Total	8,500	6,800	1,700

3. Publication Design Application

	Number	Scanned	Remained
Total	3,200	-	3,200

第3章 技術協力について

1995年にプロジェクト開始後、既に3年が経過しており、現在4年目の協力を行っている。今回の巡回調査では今までのプロジェクト進捗、今後の計画確認、タイ側からの要望聴取、プロジェクトの中間評価、さらにDIPの新庁舎移転に関する情報収集を行った。

調査の結果、機材導入（ソフトウェア等を含む）の遅れなどによる短期専門家の派遣時期の変更があったが、おおむね順調にプロジェクト計画が進んでいることが確認できた。

各項目の調査結果について以下に示す。

(1) インターネットによる情報公開について

インターネットによる情報検索サービスは、機器導入などの遅れもあったが、今年度9月から開始された。利用状況も稼働時間8:30～16:30の間の限定された時間帯での利用であるが、約2週間で約1300回ものアクセスが行われている。

しかし、一方で現在、以下のような問題もある。

1) 電源の問題

現行の建物が供給できる電力が安定していない。しかしながら新庁舎移転後、解決される。

2) ユーザーインターフェースの問題

今年度9月にDIP主催のセミナーを行った。この中で現在サービスの行われているインターネット検索を利用したが、利用するためのインターフェースについてのクレームが多数出た。この点についてはDGからも改善の命令が出ていることから改善していく必要がある。なぜならばタイ国の私企業は工業所有権情報を効率的に利用していないため、最終的には無駄となってしまう投資を数多く行っているのが現状である。工業所有権情報に効率的にアクセスできる手段を与えることによってこれらの問題は解決されるはずであるが、現行のインターフェースでは、効率的な情報アクセスが困難である。（タイ側から改善のための協力要請あり）

電源の問題については、新庁舎移転後問題解決される予定である。稼働時間も移動後、20:00までの延長を考えている。

(2) ジュークボックスの利用状況

システム稼働当初は数台の端末からのみの利用が可能であったが、現在では外部への情報公開端末を含め、すべてのDIP内のPCでジュークボックス内に格納されている。情報にアクセス可能である。

(3) プロジェクト進捗の中間評価

IPIC プロジェクトの活動には大きく分けて以下の3つがあげられる。

- 1) システムの構築・保守・管理をカウンターパート(C/P)が実施できるように指導する。
- 2) システムを用いた検索技術の向上とカウンターパートから他利用者(審査官等)への検索技術指導
- 3) 工業所有権情報の普及広報をカウンターパート自らが実施できるように指導する。

1)においてはおおむね順調に実施されており、特段の問題はない。2)についてはカウンターパートが自ら実施することができる特段には到達しているが、しかしながら他の利用者に指導できる段階には至っていない状況である。3)についてはインターネットを利用した情報普及が上記にも表記したとおり、いくつかの問題点もあり、また導入された時期の問題もあり、若干スケジュールどおりに実施されていない状況である。

しかしながら、これらは、情報公開についてタイ側もDG以下、非常に熱意をもって取り組んでいることから、最終的には問題なくクリアされるであろう。

(4) 庁舎移転計画について

庁舎については、内装、一般電源がほぼ完成をしている状況にある。今後、LAN設備及びコンピュータシステムに必要な電源を別途特別に手当てされたローカルコスト負担で導入することとなっている。これらの工事などについても公開入札を行う必要があるので、確実な実施日を決定はできないが、おおよそ別紙にあるスケジュールどおりに実施されるとの回答がタイ側からあった。また日本側からも少なくともスケジュールどおりに実施されるように強く要望した。また併せて極力IPICの活動が妨げられないよう要請を行った。新庁舎はタイ政府機関の4局が入ることとなっている。

(5) タイ側からの要望について

1) インターネットの強化パッケージについて

上記にもあったように、情報普及を行っていく際に必要不可欠となる機能改善のための支援要請があった。(要請内容については別紙参照)

2) スペアーパーツについて

既に数年にわたりプロジェクト供与機材は利用されており、プロジェクト終了後も支障なく維持管理していくためにリストのとおり機材支援要求があった。

第4章 コンピュータシステムについて

(1) 調査内容

1) IPIC システム

現在までに供与が完了しているハードウェア、ソフトウェアの使用状況はおおむね良好であった。また、供与したハードウェアのすべてに管理番号がふられ、管理簿による機材管理が行われていた。

庁内での閲覧サービスもさることながら、1998年9月に開始したインターネットによる閲覧サービスも多くユーザが利用している。1998年10月12日から、DIPのホームページにカウンタを設置したところ、現在までに1300ユーザを超える訪問者があったとのことであった。

また、第2期に供与した自国文献検索システムについて、当初はユーザインターフェースに関して多くの苦情が寄せられていたが、第3期の機能強化パッケージによって改善された。

しかしながら、いくつかの問題点が残っていることも報告を受けた。

これはタイ国内で開催されたセミナーの参加者や、直接DIPに寄せられた苦情から判明したことであるが、インターネットサービスに接続していると、まれに回線切断が発生するとのことである。これは、現在のDIP庁舎の近くで地下鉄工事を行っており、その工事が原因と思われる。この問題に関しては、新庁舎への引っ越しが完了すれば解消されると思われる。

このほかにユーザインターフェースの改善要望、接続速度の改善要望、サービス時間の延長要望、電話回線のビジーが多いなど、1日に2、3件程度、ユーザからの要望、苦情がDIPに寄せられている。

2) 新庁舎への移転

1999年3月頃からDIPの移転が始まる予定である。移転に際してIPICシステムの停止期間はおおよそ1週間程度になるとの報告があった。

調査期間中に新庁舎の見学を行い、5階に設置予定のコンピュータ室などを確認した。現在、内装やLAN設備の工事が完了していないが、コンピュータ室の床はフリーアクセスになり、LAN環境はビルを通じて配線され、サーバと接続されるとのことであった。

第5章 調査団所見

5 - 1 調査の目的

タイ国は、我が国に対して、同国において工業所有権行政全般を所管している知的財産局(DIP)内にコンピュータ化された工業所有権情報システムを持つ工業所有権情報センターを構築し、同センターの活動を通して、DIPの出願を処理する機能の強化、工業所有権情報の公衆への普及を目的とするプロジェクト方式技術協力を要請し、この要請を受け1995年7月1日から5年間にわたる本プロジェクトが開始されている。

今回の巡回指導調査は、プロジェクトの協力期間が残り2年間となっている現在、これまでの成果を確認し、現状の課題・要望を聴取して中間評価を行い、今後の活動に対する要望を聴取してプロジェクト運営についてタイ側と協議し、年次活動計画の策定を行うことを主な目的とした。

5 - 2 協議概要

(1) タイ工業所有権情報センタープロジェクト巡回指導調査

1) プロジェクト現状の把握

専門家派遣

タイ側から、長期・短期専門家の派遣期間及び技術分野は的確であるとの発言があった。

カウンターパート研修

カウンターパートは帰国後も報告会開催及び報告書提出を行っており、研修成果が他のカウンターパートに移転されている。

機材供与

タイ側は、供与済機材についての来年度メンテナンス費用を増額しており、機材維持に関する努力がうかがわれる。

2) 中間評価

本プロジェクトの主たる技術移転分野は、特許検索システムの構築、当該システムを用いた工業所有権情報の普及広報及び当該システムを用いた特許審査技術の3つであり、これらについて中間評価を行った。結果は以下のとおり。

については、現在ほぼ目的を達成しつつある。

については、現在のところやや不足であるが、今後セミナーなど活動やインターネットによる情報提供を行うことにより終了に向かうと思われる。

当該システムを用いた特許審査技術については、現在のところ十分とは言えないが、審査官がシステムを用いて特許審査を行いノウハウを蓄積することにより終了に向かうと思わ

れる。

3) 今後の計画

タイ側から、来年度に関して以下のような要望があった。

機材供与

供与機材として、保守用スペアパーツの供与及び供与済システムの改良について要望があった。

短期専門家派遣

審査指導を、できれば4～5人程度派遣してほしいとの要望があった。

カウンターパート研修

カウンターパート研修を本年度と同程度の人数(3人)としたいとの要望があった。

4) 新庁舎

新庁舎関連

タイ側から、DIPの新庁舎への移転は3月末より開始され、5月にすべての移転が完了する予定との説明があった。

新庁舎を視察したところ、建設工事はほぼ終了しており、電気配線などの内装工事を残すのみであることを確認した。LANシステムの配線などに関連した予算として230万バーツ確保されているとの説明があった。

専門家の執務スペース

専門家の執務室が現在に比して多少減少することから、先方に対して申し入れたところ、当初予定されていた場所より広いスペースを確保できる階をもってあてることを約束した。

5) 合同調整委員会(議長:ピパット局長、調査団:オブザーバー参加)

タイカウンターパートが、1997年度のプロジェクトの進捗状況の説明を行い、関係機関の了承を得た。

局長からは、IPICプロジェクトの成果を生かし、来年の連携セミナーにおいて広くASEAN諸国に対してリーダーシップを発揮しASEAN全体における工業所有権制度の情報化を促進して行きたいとの表明があった。

5 - 3 団長所見

(1) 総論

IPICプロジェクトは、1995年7月より開始され、2000年6月までの5年間を協力期間として予定しているが、協力開始より既に3年が経過しており、今般の巡回指導調査では、中間評価を行いその結果を残りの2年間の協力計画の一部の見直しを行うもの。あわせて、来年1月

に予定されているプロジェクト連携セミナー開催に関する協議を行った。10月より検索システムを含むインターネットの情報公開が始まっており、サービス開始後2週間程度しか経過していないにもかかわらず、外部から1300件以上のアクセス実績が上がっている。これら工業所有権に連携した情報システムがDIP内部での活用されるとともに、更には外部からの期待に応えるものであることは明らかである。我が国の工業所有権に関連したプロジェクト方式技術協力はタイが初めてのケースであるが、現在までの協力の経験と実績を如何に、今後予定されるフィリピン、ヴィエトナムに対する協力を生かして行くかを真摯に検討することが必要であると思慮される。今般の中間評価の総合的な結果は、比較的良好なものであると判断されることから、今後の2年間の残された協力期間をタイに続く次への協力のよきモデルケースとして生かせるようプロジェクト関係者の更なる努力に期待したい。さらに、来年1月に予定されている連携セミナーの参加各国の関係機関相互において、IPICプロジェクトで得られた成果を情報交換・共有化することを期待したい。

(2) 各論

1) 産業構造調整事業における位置づけの明確化及び関連予算の確保について

タイ国における経済の状況下において、DIP関連予算はやや異例的な措置として、30%増予算が組まれている。しかしながら、導入された機材の維持管理経費を合わせて考慮するとローカルコストの調達には困難な状況にあることは変わりはない。本年度の補正予算によるデータ入力に関連予算は大変効果的な結果を生んでおり、また作業についてもおおむね80%が既に終了しておりタイ側からは我が国の追加的措置に関して高い評価を得た。

情報化技術の進歩の速度とこれらに関連した機材のアップグレード問題は、大きな問題となることが多い。IPIC事業に関してもこれら問題は近い将来確実に発生するものと考えられる。基本的にはローカルコストで対応すべき問題であるとの認識であるが、これら問題及び対応予算の確保に関しては更なる努力が必要であると考えられる。

一方でタイにおいては工業部門の国際競争力の強化を目的として産業構造調整事業が閣議承認されており、本年10月よりはその実施を着実に進めるための約1.2億ドルの予算が準備されている。来年3月までの当面の半年間についての優先プロジェクトとして25プロジェクトが既に決められているが、工業所有権関連事業は残念ながら登録されていない。

11月をめぐりに、産業構造調整委員会では来年の3月以降2000年9月までの優先事業を40プロジェクト選定しそれらに対し必要な予算を確保する予定である。

工業所有権関連事業に関しても産業構造調整事業の目的である産業競争力強化に大きな役割を果たすことから、工業所有権関連事業についても優先プロジェクトとしての位置づけを得ることができれば、それに関連した予算の調達が可能となる。仮にそれらの予算確保が可

能となれば、当該協力の成果を生かしタイ DIP の更なる強化が可能と思慮される。

当方より、サンチ副局長及びピパット局長に対し構造調整事業のキーパーソンである産業構造調整小委員長であるソンポップ氏(工業相顧問)に対しコンタクトを取り、事業の登録及び予算の確保の努力を促したところ早急に検討を行いたい旨回答があったことより、今後これら取り組みに大きく期待したい。

2) 局長よりの要請について

ピパット局長より以下のような強い要請があった。

タイへの先行的な我が国の協力を完成させ、さらには今回のプロジェクト連携セミナーのようにタイ DIP がリーダー的な役割を果たしたい。

今般の協力をASEAN工業所有権協力の一つのモデルケースとして生かしてほしい。具体的にはフェーズ としていくつかの残された課題を解決するため継続的なプロジェクトタイプ技術協力の要請を今後検討したい。

新たな要請にはただちに答えることは困難であると考えられるが、今後、我が国からの協力実績が目に見える形で上がってきたこと及びそれらを生かしたASEANでの南南協力の拠点整備としてとらえソフト型の広域プロジェクト方式技術協力としてのフェーズ 協力の可能性を検討してみる価値はあると考慮される。

付 属 資 料

協 議 議 事 録 (M/D)

参 考 運 営 指 導 手 一 冊 調 査 報 告 概 要

協議議事録 (M/D)

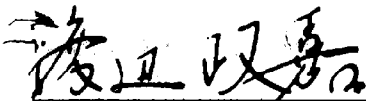
MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE ADVISORY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON
THE INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION CENTER
IN THE KINGDOM OF THAILAND

The Japanese Advisory Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Masayoshi Watanabe, visited Department of Intellectual Property (hereinafter referred to as "DIP"), Ministry of Commerce of the Kingdom of Thailand from October 25 to October 31, 1998 in order to review the activities being conducted under the Project on the Industrial Property Information Center (hereinafter referred to as "the Project") and to formulate further development of the Project.

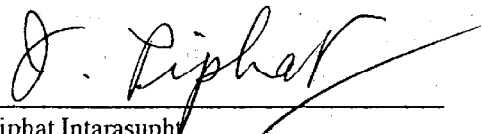
During its stay in the Kingdom of Thailand, the Team had a series of discussion and exchanged views with the Thai authorities concerned (hereinafter referred to as "the Thai side") over the matters for successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, the Team and the Thai side agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, October 30, 1998



Mr. Masayoshi Watanabe
Leader
Advisory Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Piphat Intarasuph
Director General
Department of Intellectual Property
Ministry of Commerce
The Kingdom of Thailand

ATTACHED DOCUMENT

1. Review of the Activities of the Project from July 1996 to September 1998

1.1 Input by the Japanese side

(1) Dispatch of the Japanese Experts

The present situation on Japanese Experts dispatched by the Japanese side is shown in Annex I.

(2) Training of the Thai Counterpart Personnel in Japan

The Training of the Thai Counterpart Personnel was implemented in Japan as shown in Annex II.

(3) Provision of Equipment and Materials

The list of the equipment and materials provided by the Japanese side is shown in Annex III.

1.2 Input by the Thai Side

(1) Outline of the System of the Project in the total DIP System

The outline of the System of the Project in the total DIP System is shown in Annex IV.

(2) Operation and Maintenance of Equipment and Materials

Operation and maintenance of all equipment and materials is implemented by the Thai counterpart personnel with Japanese experts' advice and guidance.

(3) Allocation of Personnel for the Project

DIP allocated the counterpart personnel, administrative staff and supporting staff for the Project as shown in Annex V.

The Team appreciated the great effort of the Thai side for allocating personnel for the Project.

(4) Organization chart of DIP and Organization chart of IPIC counterpart

Organization chart of DIP and Organization chart of IPIC counterpart are shown in Annex VI and Annex VII, respectively.

(5) Allocation of the budget for the Project

DIP allocated the budget for renovation work and running expenses of the Project in 1998 as shown in Annex VIII.

1.3 Output of the Project

(1) Technology Transfer

Technology transfer from the Japanese Experts to the Thai counterpart personnel was implemented mainly through on-the-job training.

The items of technology transfer from July 1995 to September 1998 are as follows:

- ① Introduction of prototype system of foreign document database
- ② System for accumulation of domestic patent documents
- ③ System for retrieval of domestic patent documents
- ④ Fundamental design for industrial property information system
- ⑤ System operation and maintenance
- ⑥ Prior-art search using the system
- ⑦ Dissemination of industrial property information using the system



(2) The Special Seminar

The outline of the special seminar held on September is shown in Annex IX.

2. Discussion of Annual Work Plan from April 1998 to March 1999

2.1 Input by the Japanese Side

(1) Dispatch of the Japanese Experts

a. Long-term experts

In accordance with the re-examination of the activities of each Japanese long-term Expert, both sides confirmed that long-term Experts in the following fields had been assigned.

Name of Expert	Technical Field	Assigned Term
Mr. Yoshiaki Iwasaki	CHIEF ADVISOR	Jun. 20, 1997 ~ Jun. 19, 1999
Ms. Chieko Maruyama	COORDINATOR	Aug. 7, 1995 ~ Jun. 30, 1998
Mr. Shouji Kusano	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Dec. 2, 1995 ~ Dec. 1, 1997
Mr. Hideyuki Okuno	COMPUTER SYSTEM	Feb. 17, 1996 ~ Jun. 30, 1999
Mr. Hideo Wada	INDUSTRIAL PROPERTY (TRAINING AND DISSEMINATION)	Sep. 9, 1996 ~ Jun. 30, 1998
Mr. Keiichi Hiratsuka	INDUSTRIAL PROPERTY (TRAINING AND DISSEMINATION)	Jun. 16, 1998 ~ Jun. 30, 2000
Mr. Yoshiaki Miura	COORDINATOR	Jun. 30, 1998 ~ Jun. 30, 2000
Mr. Osamu Suwa	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Nov. 15, 1998 ~ Jun. 30, 2000

b. Short-term experts

The Thai side requested the dispatch of Japanese short-term Experts for the period Japanese fiscal year 1998 by submitting A-1 form in the following fields.

But Japanese side didn't receive A-1 form of Short-term experts on Patent Examination.

So the Team requested the Thai side to prepare A-1 form in consultation with the long-term Experts and to submit to the Japanese side at least 3 months before the requested period.

person	Technical Field	Duration	Date required
1 person	Computer Engineering (Management of system development)	1 month	February or March 1999
1 person	Computer Engineering (Database management)	1 month	May or June 1999
1 person	Computer Engineering (Prior art search)	1 month	May or June 1999
3 person	Patent Examination	1 month	May or June 1999

(2) Training of the Thai Counterpart personnel in Japan

The Thai side requested that the counterpart training in Japan by submitting A-23 form for the period Japanese fiscal year 1998 in the following fields.

Name of Counterpart	Position	Training Item	Training Term
Ms. Kwanjai KULKAMTHORN	HEAD, PUBLIC RELATION & FOREIGN RELATION, DIP	INTELLECTUAL PROPERTY	3 weeks on January or February, 1999
Ms. Ornsuang SUTIRASAKUL	COMPUTER SCIENTIST, DIP	INTELLECTUAL PROPERTY (COMPUTER SYSTEM)	November 25, 1998~ December 26, 1998
Mr. Chanchai NEERAPATTANAGUL	PATENT EXAMINATION DIP	PATENT EXAMINATION	November 25, 1998~ December 26, 1998

(3) Provision of Equipment and Materials

The Thai side requested the acquisition of equipment and materials by submitting A-23 form as shown in Annex X for the efficient implementation of the Project.

The Team agreed the provision of the equipment and materials on condition that the Thai side would allocate the maintenance cost for them.

2.2 Input by the Thai Side

(1) Allocation of Personnel for the Project

The Thai side has the plan for allocation of the counterpart personnel, administrative staff and supporting staff for the Project as shown in Annex V.

(2) Allocation of the Budget for the Project

The Thai side explained the plan for allocation of the budget (1996-2000) for the Project as shown in Annex VIII.

Both sides confirmed that the Thai side would secure enough budget for the running expenses of the Project, especially the maintenance cost for all equipment and materials.

2.3 Annual Work Plan

Both sides jointly formulated the Annual Work Plan from April 1998 to March 1999 as shown in Annex XI. Technology transfer of the Project will be implemented according to this Annual Work Plan.

3. Review of Master Plan, Tentative Schedule of Implementation

3.1 Master Plan

Both sides confirmed that the Master Plan attached to the R/D was not to be modified.

3.2 Tentative Schedule of Implementation

Both sides confirmed that the Tentative Schedule of Implementation was to be modified as shown in ANNEX XII as a result of the confirmed input by the Japanese side.

4. Project Design Matrix (PDM)

The Team and the Thai side revised the Project Design Matrix (PDM) to clarify Narrative Summary as shown in Annex XIII.

5. Plan of Operations (PO) and Annual Plan of Operations (APO)

The Team and Thai side drew up the Plan of Operations (PO) and Annual Plan of Operations (APO) to plan the schedule for the activities of above-mentioned PDM as shown in Annex XIV and XV.

6. Middle Evaluation

The Team and Thai side evaluated the present stage of the Project by comparing current level with future level at each activity of PDM as shown in Annex XVI.

Almost all of activities are in progress successfully. The activities that have not achieved up to now should be fulfilled before the end of cooperation by both side.

7. Others

7.1 Joint Coordinating Committee

The Joint Coordinating Committee meeting for the Project was held on October 30 at the 5th Floor Meeting Room of DIP in Bangkok for smooth implementation of the Project.

The outline and the Participants and Contents in the Joint Coordinating Committee meeting are shown in Annex XVII.

7.2 Moving to new building

The Thai side submitted the tentative schedule of moving of DIP to new building shown as Annex XVIII.

7.3 Management of equipment of Project

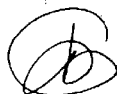
The Team confirmed that the Thai side managed the equipment of Project properly by the management table shown as Annex XIX.

7.4 Names of participants in all the meetings are listed in Annex XX.



Annex List

Annex I	List of the Japanese Experts
Annex II	List of the Counterpart Training Participants
Annex III	List of equipment and materials
Annex IV	Outline of the System of the Project
Annex V	Allocation of personnel for the Project
Annex VI	Organization chart of DIP
Annex VII	Organization chart of IPIC counterpart
Annex VIII	Allocation of the budget for the Project
Annex IX	Summary about Seminar on IPIC internet serching service
Annex X	Equipment and materials requested by the Thai side
Annex XI	Annual Work Plan (from April 1998 to March 1999)
Annex XII	Tentative Schedule of Implementation
Annex XIII	Project Design Matrix
Annex XIV	Plan of Operations
Annex XV	Annual Plan of Operation
Annex XVI	Technical Transfer Achievement
Annex XVII	Contents of Joint Coordiantiong Committee
Annex XVIII	Tentative scedule moving to new building plan
Annex XIX	Equipment of IPIC Project (Step I-III)
Annex XX	List of Attendants in the Meetings



The List of the Japanese Experts

Name of Expert	Technical Field	Assigned Term
(Long-term Expert)		
Mr. Toranosuke Hashimoto	CHIEF ADVISOR	Jul. 1, 1995 ~ Jun. 30, 1997
Ms. Chieko Maruyama	COORDINATOR	Aug. 7, 1995 ~ Jun. 30, 1998
Mr. Shouji Kusano	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Dec. 2, 1995 ~ Dec. 1, 1997
Mr. Hideyuki Okuno	COMPUTER SYSTEM	Feb. 17, 1996 ~ Jun. 30, 1999
Mr. Hideo Wada	INDUSTRIAL PROPERTY (TRAINING AND DISSEMINATION)	Sep. 9, 1996 ~ Jun. 30, 1998
Mr. Yoshiaki Iwasaki	CHIEF ADVISOR	Jun. 20, 1997 ~ Jun. 19, 1999
Mr. Keiichi Hiratsuka	INDUSTRIAL PROPERTY (TRAINING AND DISSEMINATION)	Jun. 16, 1998 ~ Jun. 30, 2000
Mr. Yoshiaki Miura	COORDINATOR	Jun. 30, 1998 ~ Jun. 30, 2000
(Short-term Expert)		
Mr. Sigeo Takakura	INDUSTRIAL PROPERTY SYSTEM	Dec. 6, 1995 ~ Dec. 10, 1995
Mr. Takao Hirosawa	INDUSTRIAL PROPERTY SYSTEM	Dec. 6, 1995 ~ Dec. 10, 1995
Mr. Mitsunari Takahashi	PATENT EXAMINATION	Feb. 19, 1996 ~ Mar. 10, 1996
Mr. Masahiro Taguchi	PATENT EXAMINATION	Feb. 19, 1996 ~ Mar. 10, 1996
Mr. Susumu Koide	PATENT EXAMINATION	Feb. 19, 1996 ~ Mar. 3, 1996
Mr. Tatsuya Ichihira	COMPUTER ENGINEER	Mar. 11, 1996 ~ Mar. 30, 1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Mar. 18, 1996 ~ Apr. 4, 1996
Mrs. Kiyomi Ito	COMPUTER ENGINEER	Mar. 25, 1996 ~ Mar. 30, 1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Apr. 22, 1996 ~ May 4, 1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Sep. 23, 1996 ~ Oct. 12, 1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Dec. 1, 1996 ~ Dec. 19, 1996
Mr. Yuzo Koike	MANAGEMENT OF INDUSTRIAL PROPERTY	Dec. 10, 1996 ~ Dec. 15, 1996
Mr. Tadashi Ishii	MANAGEMENT OF INDUSTRIAL PROPERTY	Dec. 11, 1996 ~ Dec. 14, 1996
Mr. Jun Nagayama	COMPUTER ENGINEER	Feb. 9, 1997 ~ May 15, 1997
Mrs. Tomoko Watanabe	PATENT EXAMINATION	Feb. 10, 1997 ~ Feb. 22, 1997
Mrs. Reeko Imamura	PATENT EXAMINATION	Feb. 10, 1997 ~ May 1, 1997
Mr. Minoru Yamazaki	COMPUTER ENGINEERING (SOFTWARE)	Jul. 28, 1997 ~ Aug. 2, 1997
Mr. Tatsuyuki Nakamura	PATENT EXAMINATION	Dec. 1, 1997 ~ Dec. 14, 1997
Ms. Midori Tominaga	PATENT EXAMINATION	Feb. 16, 1998 ~ Feb. 28, 1998
Mr. Minoru Yamazaki	COMPUTER ENGINEERING (HARDWARE)	Mar. 16, 1998 ~ Apr. 4, 1998
Mr. Shinji Sato	COMPUTER ENGINEERING (SOFTWARE)	Mar. 23, 1998 ~ Apr. 4, 1998
Mr. Toru Yamazaki	DISSEMINATION OF INDUSTRIAL INFORMATION	Mar. 23, 1998 ~ Apr. 4, 1998
Mr. Minoru Yamazaki	COMPUTER ENGINEERING (SOFTWARE)	Jul. 13, 1998 ~ Jul. 23, 1998
Mr. Hayato Kobayashi	COMPUTER ENGINEERING (SOFTWARE)	Jul. 13, 1998 ~ Jul. 25, 1998



Rephal

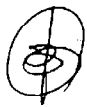
The List of the Counterpart Training Participants

Name of Counterpart	Position	Training Item	Training Term
Mr. Vararak CHANSAMART	DEPUTY DIRECTOR GENERAL, DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Nov. 5, 1995 ~ Nov. 18, 1995
Mr. Santi RATTANASUWAN	DIRECTOR OF EXAMINATION I DIV., DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Nov. 5, 1995 ~ Nov. 18, 1995
Mr. Verasak MAIWATANA	HEAD OF IP INFORMATION SEC., DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Nov. 5, 1995 ~ Dec. 16, 1995
Mr. Somsak LIENGKAEWPRATUM	COMPUTER SYSTEM ANALYST, DIP.	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Nov. 5, 1995 ~ Dec. 16, 1995
Mr. Vichaya WANGPAKAPATTAN AWONG	COMPUTER SCIENTIST, DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Oct. 10, 1996 ~ Nov. 16, 1996
Mr. Tharistree PLUBPLA	COMPUTER SYSTEM ANALYST, DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION SYSTEM	Oct. 10, 1996 ~ Nov. 16, 1996
Mr. Wachara CHAMNANWONG	HEAD OF PERSONNEL SEC, DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Oct. 10, 1996 ~ Nov. 16, 1996
Mr. Kananusorn THEINGTHRAKOOL	LEGAL OFFICER., DIP	INDUSTRIAL PROPERTY INFORMATION ADMINISTRATION	Oct. 10, 1996 ~ Nov. 16, 1996
Ms. Narumon SRIKUMKLIP	COMMERCIAL REGISTRATION ANALYST, DIP.	INTELLECTUAL PROPERTY	Sep. 2, 1997 ~ Oct. 19, 1997
Ms. Nida VIVATANOPAS	HEAD OF FINANCE SECTION, DIP.	INTELLECTUAL PROPERTY	Sep. 2, 1997 ~ Oct. 19, 1997
Mr. Chaiyon ANUPUPPHAN	SENIOR PATENT OFFICER, DIP	INTELLECTUAL PROPERTY (COMPUTER SYSTEM)	Sep. 2, 1997 ~ Oct. 19, 1997
Ms. Ornsuang SUTIRASAKUL	COMPUTER SCIENTIST, DIP	INTELLECTUAL PROPERTY (COMPUTER SYSTEM)	Sep. 2, 1997 ~ Oct. 19, 1997

List of the Equipment and Materials
1995/4/1-1996/3/31

No.	I T E M		QUANTITY
1	Server Computer for Database (Domestic Patent Documents)		
	Hardware	Express5800/150	1set.
		- CPU Unit N8500-90	(1)
		- CPU Unit N8502-15	(1)
		- CPU Unit N8502-13	(1)
		- Magnet Disk Unit N7744-94	(1)
		- Magnet Disk Unit N8550-05	(2)
		- M150	(1)
		- 101 Keyboard (English)	(1)
		- AC Cable (200V)	(1)
		- MOUSE	(1)
		- Printer Cable	(1)
		- SCSI Cable K210-26(00)	(1)
		- SCSI Cable K208-35(01)	(1)
		- 10 BASE 5 BOARD	(1)
		- Disk Alley Controller	(2)
		- Disk Extended Unit	(2)
		- FDD	(8)
		- SCSI Cable	(2)
		- D A T	(1)
		- Cable K210-16(00)	(1)
		- Cable K209-93(01)	(2)
	Software	MS-Windows NT Server Ver3.51	(1)
	Software	MS-Windows NT Server Ver3.51(20 CAL)	(2)
	Software	ARCserve 1.0 for Windows NT	(1)
	Software	ARCserve Changer Option 1.0 for Windows NT	(1)
	Software	Express Server System Manager Ver1.1	(1)
	Software	SORTKIT Ver2.0	(1)
	Software	AP9009 PowerChute+ for Windows NT	(1)
	Manual (Japanese)	MS-Windows NT Server Ver3.51	(1)
	Manual (Japanese)	Express 5800 Series Windows NT UL9004-001	(1)
	Manual (Japanese)	Express 5800 Series Windows NT UL9100-101	(1)
	Manual (Japanese)	Express 5800 Series Windows NT UL9011-101	(1)
	Manual (Japanese)	MS-SQL Server Ver6.0	(1)
	Manual (Japanese)	Oracle Server	(1)
	Manual (Japanese)	Oracle Pro'C	(1)
2	Manual	MS-Windows Ver3.11	1
3	Manual	MS-Word Ver6.0	1
4	Manual	MS-Access Ver2.0	1
5	Manual	MS-Excel Ver5.0	1
6	Manual	MS-Mail Ver3.5	1
7	Manual	MS-PowerPoint	1
8	Manual	PC/TCP	1
9	Manual	MS-Visual C++ Ver2.0	1
10	Manual	MS-Visual Basic Ver2.0	1
11	Application Software	Domestic Document Storage System	1set

No.	I T E M		QUANTITY
12	Stand Alone Type Computer for Patent Examination		5set
	Hardware	Powermate V100(Pentium 100MHz)	(5)
		·36MB Memory, 265 KB.Cache	(5)
		·1MB VRAM, 540 MB HDD(IDE)	(5)
		·FDD1×3.5" 1.44MB	(5)
		·FDD1×5.25" 1.2MB	(5)
		·Standard Keyboard(Thai), Mouse	(5)
		·Multisync XV17 17" Res. 1024×768	(5)
	Software	MS-DOS Ver6.22(Thai)	(5)
	Software	MS-Windows Ver3.11(Thai)	(5)
13	Stand Alone Type Computer for Data Scanning		3set
	Hardware	Powermate V100(Pentium 100MHZ)	(3)
		·36MB Memory, 265 KB Cache	(3)
		·1MB VRAM, 1.0GB HDD(SCSI)	(3)
		·FDD1×3.5" 1.44MB	(3)
		·FDD1×5.25" 1.2MB	(3)
		·Standard Keyboard(Thai), Mouse	(3)
		·Multisync XV17 17" Res. 1024×768	(3)
	Software	MS-DOS Ver6.22(Thai)	(3)
	Software	MS-Windows Ver3.11(Thai)	(3)
14	Peripheral Equipment	Multisync XV17 17" Res. 1024×768	1
15	Peripheral Equipment	NEC CD-ROM(4X) Internal	8
16	Peripheral Equipment	16 bit ISA with RJ-45, AUI and BNC	3
17	Printer	HP LaserJet 5SiMX 600×600 dpi, 24 PPM(A4) Automatic Document Feeder(50 pages)	9set
18	Scanner	HP ScannerJet 4c Interface Adapter Kit for IBM/ISA	3set
19	1.25 KVA APC UPS		1
20	LAN EQUIPTION	8 port RJ 45 Micro HUB	3
21	LAN EQUIPTION	CISCO 2500 Dual EtherNet/Dual Hub	1
22	LAN EQUIPTION	CISCO 2500 IOS IP/IPX Feature Set	1
23	CABLING	4mm" THW	300
24	CABLING	DIA 1/2" Flexible Conduit	50
25	CABLING	DIA 3/4" Flexible Conduit	150
26	CABLING	OUTLET(WN-1592)220V	18
27	CABLING	Plate Cover	18
28	CABLING	Single Cable(# 5 UTP Cable)	100
29	CABLING	Single Cable(Thick Cable)	170
30	CABLING	Wire Way PVC 23-323	90
31	CABLING	Trainsciver Cable(5m)	3
32	CABLING	Trainsciver Cable(10m)	3
33	CABLING	Piercing Tap Transciver(ISOLAN)	6
34	CABLING	N-Series Connector	2
35	CABLING	N-Series Terminator	2
36	CABLING	PVC Box	21
37	CABLING	MISC & Accessorries	1
38	CABLING	Service	1
39	Software Package	MS-DOS V6.22(English) included in CPU	1
40	Software Package	MS-Windows V3.11(English)	1
41	Software Package	MS-Office for Win V4.3 Pro English Full Pscak	1
42	Software Package	MS-Office for Win V4.3 Pro Thai	8
43	Software Package	MS-Mail PC Server V3.5(English)	1
44	Software Package	MS-Mail 5 Users Additional Package	2
45	Software Package	MS-Visual Basic V4.0 for Win (CD-ROM)	1
46	Software Package	PC/TCP(MS-Windows V3.11 TCP/IP)	8
47	Software Package	MS-Visual C++ V2.0(Intel)	1
48	Software Package	MS-Access for Windows 2.0 Developer Toolkit	1



Signature

No.	I T E M		QUANTITY
49	Software Package	MS Access for Windows 2.0 Solution Pack	1
50	Software Package	MS-System Management Server V1.0	1
51	Software Package	MS-System Management Server V1.0(20 users)	1
52	Software Package	MS-SQL for NT Server V6.0(CD-ROM)	1
53	Software Package	MS-SQL for NT Server V6.0(20 Users)	1
54	Software Package	MS-SQL Workstation Ver6.0 for NT(CD-ROM)	1
55	Software Package	ORACLE 7 Server for Windows NT(16)	1
56	Software Package	ORACLE Distributed Option(16)	1
57	Software Package	OPEN/IMAGE Custom Control for Visual Basic R2.0	1
58	Software Package	OPEN/IMAGE Runtime module	2
59	Manual	MS Word Ver6.0(Thai)	1
60	Manual	MS Access Ver1.1(Thai)	1
61	Manual	MS-Office for Windows Ver4.3 Prof(Thai)	8
62	Manual	MS Visual C++ Compiler for Windows Ver2.0(Thai)	1
63	Manual	Access Development Toolkit(Thai)	1
64	Manual	Access Solution Pack(Thai)	1
65	Manual	MS-Mail Ver3.2(Thai)	8
66	Vehicle	Mitsubishi Pajero	1

1996/4/1-1997/3/31

No.	I T E M		QUANTITY
67	Client Computer for Patent Examination		
	Hardware	Powermate Ve120(Pentium 120MHz, Desk Top) -40MB Memory, 256KB Second Cache Memory -1.06GB SCSI-II Disk with Interface -104 keys Keyboard, Mouse -Multisync XV17 17" Res. 1024×768 -Internal CD-ROM 8X -3.5" 1.44 MB FDD	23set
	Software	MS-Windows 95 (Thai version Preloaded)	
68	Printer	HP Scanjet 4C for PC-AT	4
69	Software Manual	MS-Windows 95(English)	1
70	Software Manual	MS-Word for Windows 95 Ver7.0 (English)	1
71	Software Manual	MS-Access for Windows 95 Ver7.0(English)	1
72	Software Manual	MS-Excel for Windows 95 Ver7.0(English)	1
73	Software Manual	PowerPoint for Windows 95 Ver7.0(English)	1
74	Software Manual	MS-Windows 95(Japanese)	1
75	Software Manual	MS-Word for Windows 95 Ver7.0(Japanese)	1
76	Software Manual	MS-Access for Windows 95 Ver7.0(Japanese)	1
77	Software Manual	MS-Excel for Windows Ver7.0(Japanese)	1
78	Software Manual	PowerPoint for Windows 95 Ver7.0(Japanese)	1
79	Client Computer for Internal Network		
	Hardware	NEC VERSA 4000C(Pentium 75MHz, NoteBook) -32MB Memory, 256 KB Cache Memory -720MB Removable Hard Disk Drive -10.1" Active-Matrix TFT color monitor 800×600 Res. -Sound Blaster & Stereo speaker -Keyboard 83 keys, VersaGlide Touchpad -3.5" 1.44 MB FDD -CD-ROM PAK 2X -PCMCIA Ethernet 10BASE-T Interface	7set
	Software	MS-Windows 95 Thai(Preloaded)	

No.	I T E M		QUANTITY
80	Client Computer for Internal Network Hardware	NEC VERSA 4000C(Pentium 133MHz, NoteBook) -40MB Memory, 256 KB Cache Memory -1.26GB Removable Hard Disk Drive -12.1" Active-Matrix TFT color monitor 800×600 Res. -Sound Blaster & Stereo speaker -Keyboard 83 keys, VersaGlide Touchpad -3.5" 1.44 MB FDD -CD-ROM PAK 6X -PCMCIA Ethernet 10BASE-T Interface Software MS-Windows 95 Thai(Preloaded)	6set
81	Printer	DeskJet 340 Color kit for 340	13 (13)
82	Software Package	MS-Windows 95 (Thai Version)	8
83	Software Package	MS-OFFICE 95 Pro Thai Full Pack	2
84	Software Package	MS-OFFICE 95 Pro Thai MLP License	42
85	Software Package	SQL*Net(TCP/IP) for Windows 95 V2.2	44
86	Software Package	Programmer/2000(Win 95) including Pro* ^C	1
87	Printer	HP LaserJet 5M Printer Printer Driver for Windows 95 for Phase 1	4 (8)
88	Network Equipment	Catalyst 1700, 25ports 10Base-T, 2 100Base-TX MAC/PORT	5
89	Network Equipment	Catalyst 2808, 25ports 10Base-T, 2 slots 8K MAC	1
90	Network Equipment	1 port 100Base-TX Module for Catalyst 2800	1
91	Network Equipment	GeoStax/E Micro-8, 8xRJ-45/1 x UTP	1
92	Network Equipment	Micro Transceiver AUI to UTP	2
93	Network Equipment	1 Ethernet, 2 High-speed sync serial, 2 Low-speed, 1 ISDN BRI AC POWER	2
94	Network Equipment	RS232C Cable, DTE, Male 10 feet	2
95	Network Equipment	CISCO 2500 Series IOS IP Feature set	2
96	Cables	100Base-TX, a dram of 270m-long cable	
97	Software Package	MS-WindowsNT Server V3.51 20 MLP	2
98	Software Package	MS-System Management V1.1 20 License	2
99	Network Equipment	100BASE-TX conn N8504-13E	1
100	Network Equipment	Retrieval System for Patent Document	44
101	Network Equipment	Ethernet card:16 bit ISA with RJ-45, AUI and BNC	29
102	Network Equipment	Ethernet card for existing PC(Mac)	1
103	Network Equipment	Ethernet card for existing PC(Dos V)	2
104	Network Equipment	Ethernet card for existing PC(Compaq)	1
105	Application Software	Domestic Document Storage Up Grade System	1set
106	Application Software	Domestic Document Retrieval System	1set



Signature

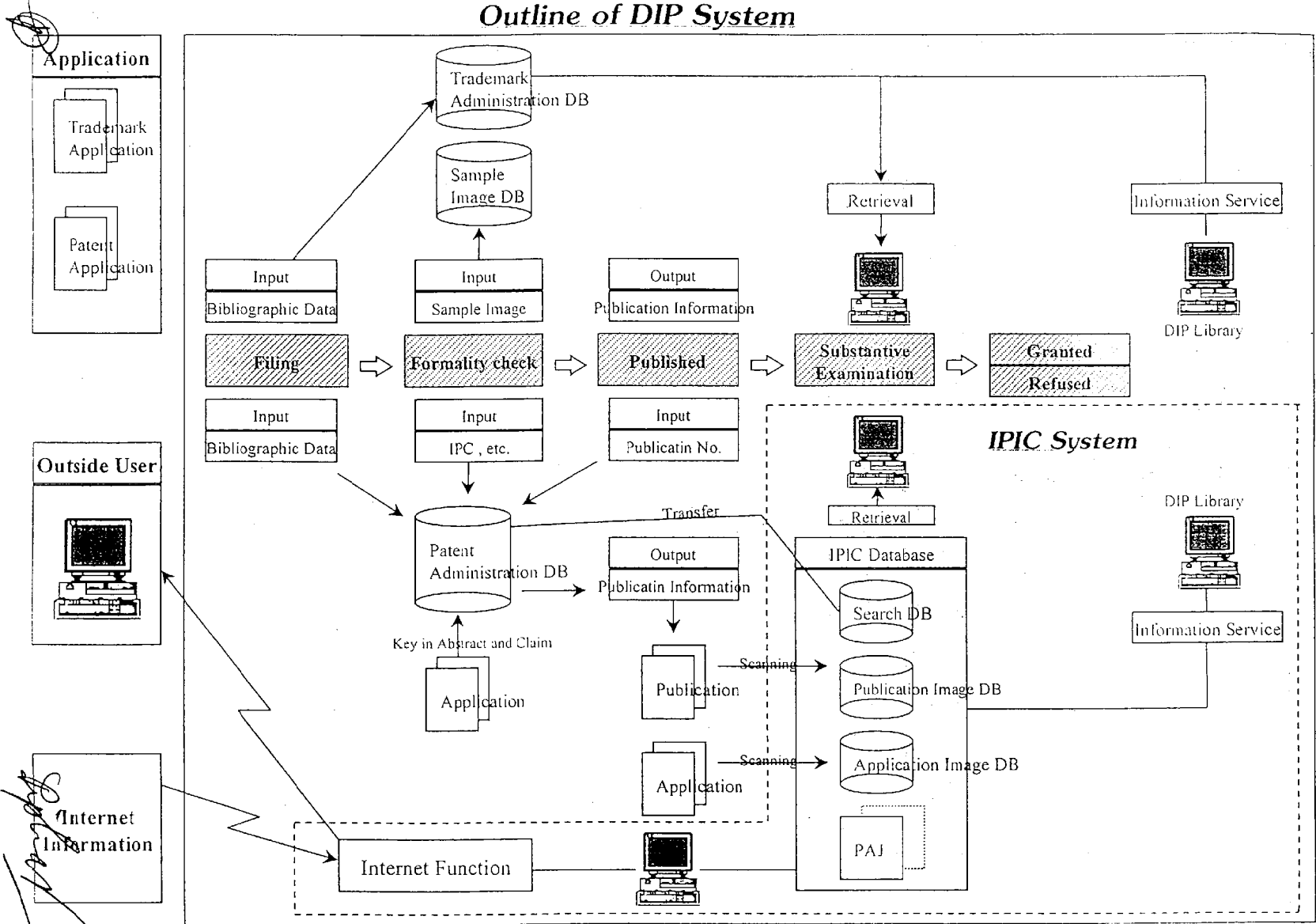
1997/4/1~1998/10/30

No.	ITEM	QUANTITY
107	<p>Web Server</p> <p>Hardware Express 5800 Model 160/Pro ·Pentium Pro 200MHz,256KB Cache ·32MB EDO Memory, 1.44MB,3.5" FDD ·CD-ROM 4xi ·B4680 Interface 100Base-TX ·Keyboard 101 Keys, 12 F Keys ·Mouse ·Multisync A700 17" Res, 1024*768 ·Additional 32 MB Memory ·Additional 128 MB Memory ·Additional 4GB HDD x 2sets</p> <p>Software Windows NT Server 4.0 (5 client) (Internet information Server)</p> <p>Software MS-Back office 2.5</p> <p>Software Oracle WebServer R2.1</p> <p>Software Norton Antivirus for Windows NT</p>	<p>1set</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p>
108	<p>Firewall Server</p> <p>Hardware Express 5800 Model 160/Pro ·Pentium Pro 200MHz,256KB Cache ·32MB EDO Memory, 1.44MB,3.5" FDD ·CD-ROM 4xi ·B4680 Interface 100Base-TX ·Keyboard 101 Keys, 12 F Keys ·Mouse ·Multisync A700 17" Res, 1024*768 ·Additional 32 MB Memory ·Additional 128 MB Memory ·Additional 4GB HDD x 2sets ·Ethernet Card ·HUB (GeoStax/E Micro 8)</p> <p>Software Windows NT Server 4.0 (5 client)</p> <p>Software Firewall ver3.0 for Windows NT</p> <p>Software Norton Antivirus for Windows NT</p>	<p>1set</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p> <p>(1)</p>

No.	ITEM	QUANTITY
109	DNS Server	1set
	Hardware Express 5800 Model 160/Pro -Pentium Pro 200MHz,256KB Cache -32MB EDO Memory, 1.44MB,3.5"FDD -CD-ROM 4xi -B4680 Interface 100Base-TX -Keyborad 101 Keys, 12 F Keys -Mouse -Multisync A700 17" Res, 1024*768 -Additional 32 MB Memory -Additional 128 MB Memory -Additional 4GB HDD x 2sets	(1)
	Software Windows NT Server 4.0 (5 client) (Internet information Server)	(1)
	Software MS-Back office 2.5	(1)
	Software Norton Antivirus for Windows NT	(1)
110	CD-ROM Automatic Changer with Contorol Computer (Hardware for Searching PAJ)	1set
	Hardware PowerMate V166e(Desktop case) -Intel Pentium 166MHz -16MB Memory, 256KB, Cache -1.44MB, FDD -2.0GB HDD -Keyborad 101 Keys, 12 F Keys -Mouse -Multisync A700 17" Res, 1024*768 -CD-ROM 16xi -16 MB Expansion EDO Memory -EtherLink 3 Ethernet Card	(1)
	Hardware Pioneer-500-disc:4.4x CD-ROM Changer with 4 reader drive	(1)
	Software MS-Windows 95 Thai (Preloaded)	(2)
	Software Smart CD for DOS	(1)
	Software MS-Office 97 Pro (Ver.7 Thai Pro)	(9)
	Software Imaging Professional Edition	(3)
	Software COREL Draw 7 for Windows 95	(1)
	Peripherals SCSI card	(1)
	Peripherals SCSI cable	(1)
111	Software Package Windows NT Server 4.0 Upgrade	1
112	Software Package Oracle Server Release7.3.3 (16 License)	1
113	Software Package Oracle Context Option(16 License) R2.0	1
114	Software Package MS-Back office 2.5(English)	1
115	Software Package MS-Back office 2.5 License Pack	50
116	Software Package Norton Antivirus for Windows NT	1

No.	ITEM	QUANTITY
117	PC CLIAANT TYPE 1 Hardware PowerMate P2166(Desktop) - Pentium MMX166MHz - 16MB Memory, 256KB, Cache - 1.44MB, FDD - 2.0GB HDD - Mouse - Keyborad 101 Keys, 12 F Keys - Multisync A700 17" Res, 1024*768 - CD-ROM 16xi - 16 MB Expansion EDO Memory - EtherLink 3 Network Card Software MS-Windows 95 Thai (Preloaded)	9set (9) (9) (18) (9)
118	Software Package ARCserver for Windows NT6.0	1
119	Software Package ARCserver Changer Option 2.0	1
120	Application Software Domestic Document Storage Up Grade System	1
121	Application Software Domestic Document Retrieval Up Grade System	1
122	Application Software Domestic Document Retrieval System Internet Edition	1

Outline of DIP System



Internet Information

Signature

Allocation personnel for the Project (Actual & Plan)

Calendar Year	1995				1996				1997				1998				1999				2000	
Japanese Fiscal Year	1995				1996				1997				1998				1999				2000	
Thai Fiscal Year	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II
Project Director	1				1				1				1									
	1(1)				1(1)				1(1)				1(1)				1(1)				1(1)	
Project Manager	1				1				1				1									
	1(1)				1(1)				1(1)				1(1)				1(1)				1(1)	
Administrative Staff	1				1				2				2									
	1(0)				1(0)				2(1)				2(1)				2(1)				2(1)	
System Development Staff	1				1				2				2									
	1(0)				3(2)				3(2)				3(2)				3(2)				3(2)	
System Operation Staff	2				2				2				2									
	0(0)				2(1)				2(1)				2(1)				2(1)				2(1)	
Data Management Staff	1				1				1				1									
	0(0)				2(1)				2(1)				2(1)				2(1)				2(1)	
Training Management Staff	1				2				2				2									
	0(0)				0(0)				1(1)				1(1)				1(1)				1(1)	
Other Staff of Center	3				3				4				4									
	0				0				4				4				4				4	
Total of Center Staff	4				4				15				15									
	4(0)				10(4)				16(7)				16(7)				16(7)				16(7)	
Patent Examiner	16				16				21				26									
	15				20				20				20				20				20	

Up side: Actual in September 1997

Down side: Plan in the R/D



ORGANIZATION CHART
DEPARTMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY

DIRECTOR-GENERAL
MR.PIPHAT INTARASUPHT
Tel. 2760048-9

ASSISTANT DIRECTOR-GENERAL
(MR.WEERAWIT WEERAWORAWIT)
Tel. 6943083

ASSISTANT DIRECTOR-GENERAL
(MR.BANYONG LIMPRAYOONWONG)
Tel. 6943082

ASSISTANT DIRECTOR-GENERAL
.....
Tel. 6943084

DEPUTY DIRECTOR-GENERAL
(MR.SANTI RATTANASUWAN)
Tel. 6943080

DEPUTY DIRECTOR-GENERAL
(MRS.PINICH MATHURAPOTE)
Tel. 2760051

DEPUTY DIRECTOR-GENERAL
(MR.CHOOKIAT KRISANAPHAN)
Tel. 2760047

EXAMINATION DIVISION 1 (PATENT)
(MR.SURAT TASNAWIJITWONGS)
Tel. 2760053

TECHNICAL AND PLANNING DIVISION
(Legal, International Cooperation Section)
(MR.PISANU SEKASIDDHI)
Tel. 2760056

OFFICE OF THE SECRETARY
(MRS.PAJCHIMA THANASANTI)
Tel. 2760057

*INTELLECTUAL PROPERTY INFORMATION CENTER
(MR.PICHET PENTRAKUL)
Tel. 6943087

SERVICE AND INFORMATION DIVISION
(MR.NARIN PHASUNTHARATHAM)
Tel. 2760052

REGISTRATION AND DOCUMENTATION
DIVISION
(MR.BOONARIS SUWANNAPOL)
Tel. 2754858

*THE COORDINATING CENTER FOR SUPPRESSION OF
INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS VIOLATION
(MRS.PAJCHIMA THANASANTI)
Tel. 2760150

EXAMINATION DIVISION 2 (TRADEMARK)
(MR.SOMSAK PHANICHAYAKUL)
Tel. 2760054

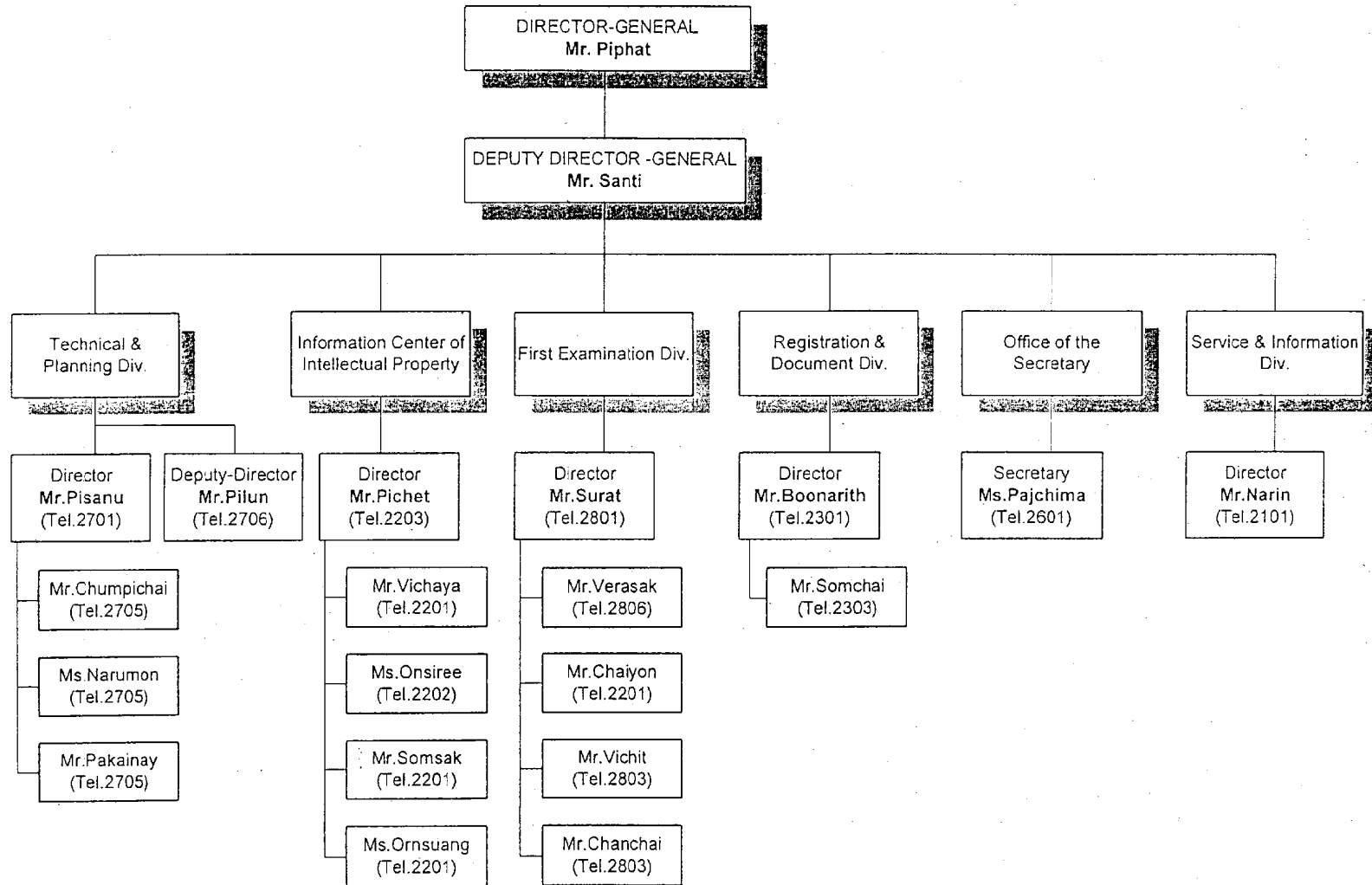
TECHNICAL AND PLANNING DIVISION
(Appeal Section)
(MR.PISANU SEKASIDDHI)
Tel. 2760056

Signature

* Specially created by the Department to improve work efficiency, but not yet approved as official units by the Office of the Civil Service Commission.



ORGANIZATION CHART OF IPIC COUNTERPART



Piphat

Allocation of the budget for the Project (Actual & Plan)

(Unit: Million Baht)

Thai Fiscal Year	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Budget Item						
Reformation of	0.22	0.18	0.3	0		
The Project Site	0.15	0.15	0.35	0.1	0.15	0.2
Expense related to	0	0.14	0.5	2.5		
Machinery and Equipment	0	0.3	2	4.5	7.6	10.4
Installation of	0	0.14	0.2	0.4		
Machinery	0	0.3	0.2	2	0.2	0
Maintenance of	0	0	0.3	2.1		
Machinery	0	0	1.5	2.5	7.4	10.4
Managing Expense	0.3	3.8	6.3	2.4		
	0.31	7.54	8.2	8.8	4.58	4.18
System Running Cost	0	2.85	0.5	0.3		
	0	5.7	6.3	2.5	2.6	2.6
Personnel Expense	0.1	0.14	1.5	1.5		
	0.15	0.28	0.32	1.6	0.36	0.38
Utilities	0.05	0.14	3.5	0.6		
	0	0.28	0.3	3.8	0.34	0.36
Travel Allowance and	0.15	0.67	0.8	0.2		
others	0.16	1.28	1.28	0.9	1.28	0.84
Total	0.52	4.14	7.1	5.2		
	0.46	7.99	10.55	13.4	12.33	14.78

SUMMARY about Seminar on IPIC Internet Searching Service

1. Date : September 16th, 1998, 9:00-13:30
2. Place : Emerald Hotel, Bangkok
3. Purpose : DIP have started IPIC Internet Searching Service, which was planed public user would use the same system to search the industrial property information from IPIC database through internet line, since August 1998. At this occasion, the seminar was held to inform the service and disseminate usage of industrial property information.
4. Participant :
- | | |
|-------------|------------------------------------|
| DIP | 17 |
| Public user | 99 |
| | University or Academic Institution |
| | Industrial Private Section |
| | Law Office |
5. Contents :
- 1) Welcome Speech by Mr. Piphat, Director General of DIP
 - 2) Speech on introduction of IPIC Project by Mr. Y.Iwasaki, Chief Advisor of IPIC
 - 3) Key Speech "Policy of DIP on Information Service of Industrial Property" by Mr. Santi, Deputy Director General of DIP
 - 4) Lecture "Searching Information on IPIC" by Mr. Piche, Director of Intellectual Property Information Center, DIP
 - 5) Demonstration "Searching through internet" by Mr. Chaiyon, Computer Scientist of Intellectual Property Information Center, DIP

Equipment and materials for FY1999-FY2000 requested by Thai side

DIP started IPIC public service through Internet in Aug. 1998 for the purpose to make industrial property information more accessible to the general public and to contribute to the development of Thai industries. The service has been accepted by the users with great interests and the number of users of the service is far beyond our expectation. However, functions of the system is not sufficient for outside users who have insufficient knowledge on industrial property. Actually, many claims have been sent to our desk on it. Internet Service Upgrade Software Package is indispensable to improve the service and to give good interface and convenience to users.

The minimum Spare Parts are indispensable to manage and operate the system under good condition for a long term after the completion of the IPIC project in June 2000. For the purpose, we think it necessary to keep the minimum spare parts on equipment which would be easily damaged during long and continuous operations.

1. Internet Service Upgrading Software Package 1 set

Function of user interface

Objective data selecting function

Others

2. Spare Parts for Server Computer 1 set

Hard-disk

Digital Audio Tape Drive

Others

Annual Work Plan (from April 1998 to June 1999)

1998

1999

Title	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	
<i>General Event</i>	Starting Thai Patent Information Service by Internet for Outside Users															
						Management Consultation Team			Advisary Team			ASEAN Joint Seminar				
								J.C.C.		DIP Moving						
<i>Hardware</i>						(Jukebox for EP) Decision of Detail Specification			JICA Procedure							Install & Test
<i>Software</i>	Internet & Upgrade Retrieval / Storage (Step 3)		Install & Test			(Data Entry Enhance Decision of Detail Specification			JICA Procedure							Install & Test
<i>Database (Scanning)</i>	Scanning Work for Application Documents & Upgrade Public: Special Supporting Budget from JICA															
<i>Short Term Experts</i>											(1) Software Engineer		(1) Software Engineer			
											(3) Examiners		(1) MIMOSA			
<i>Training in Japan</i>								(1) Administration		(2) Computer System						
<i>Dissemination</i>						Seminar in Bangkok		Seminar in Khon Kaen			IP Semina in Province		IP Seminar New DIP Building			

Approved

7/2

Tentative Schedule of Implementation

Japanese Fiscal Year	19 94				19 95				19 96				19 97				19 98				19 99				20 00					
Calendar Year	19 94				19 95				19 96				19 97				19 98				19 99				1	2				
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2
Term of Technical Cooperation																														
Japanese Side																														
1. Dispatch of Survey Team																														
(1) Preliminary		=																												
(2) Expert Survey				=																										
(3) Implementation					=																									
(4) Consultation									=																					
(5) Advisory																=														
(6) Advisory																														
(7) Evaluation																														
2. Dispatch of Long-term Experts																														
(1) Chief Advisor																														
(2) Coordinator																														
(3) Computer System																														
(4) Industrial Property (Information System)																														
(5) Industrial Property (Training and Dissemination)																														
3. Dispatch of Short-term Experts																														
(1) Industrial Property System																														
(2) Patent Examination																														
(3) Computer Engineering																														
4. Thai Counterpart Training in Japan																														
(1) Industrial Property Information Administration																														
(2) Industrial Property Information System																														
5. Provision of Machinery and Equipment																														
Thai Side																														
1. Reformation of the DIP for Center																														
2. Other Reformation of Project Site																														
3. Measures to be taken relative to Equipment and Materials																														
4. Subject to the Agreement between Thailand and Japan																														
5. Allocation of Counterpart Personnel and Staff																														
6. Budget Allocation																														

=== Result Plan



Signature



PDM for IPIC (Industrial Property Information Center) Project of Thailand

Cooperation Period: 5 years since July 1st, 1995

Japanese side: Japan International Cooperation Agency (JICA)

Thai side: Department of Intellectual Property (DIP)

Project area: Thailand

Target group: DIP

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><u>Overall Goal</u> Industrial property administration by the Department of Intellectual Property (DIP) is modernized.</p>	<p>1. Number of processing the patent applications 2. Satisfaction of main outside user</p>	<p>1. Statistics data (Number of application, examination request, decision, and left) 2. Questionnaire to and interview with main outside user (law office and academic institute)</p>	<p>a. Government's policy on regarding with intellectual property will not be changed so much.</p>
<p><u>Project Purpose</u> The abilities of the DIP regarding utilization of industrial property information are enhanced.</p>	<p>1. Achievement of prior art search by patent examiner 2. Utilization of industrial property information</p>	<p>1. Questionnaire to and interview with DIP patent examiners. 2. Questionnaire to and interview with main outside user (law office and academic institute)</p>	<p>a. DIP's institution regarding with intellectual property will not be changed so much. b. Number and quality of DIP patent examiner will not decrease</p>
<p><u>Outputs</u> 0. Project operation unit will be enhanced. 1. Necessary machinery and equipment are provided and well-maintained. 2. Counterparts are trained to be able to construct, operate and maintain the IPIC system. 3. Counterparts are trained to be able to conduct prior art search using the IPIC system. 4. Counterparts are trained to be able to disseminate industrial property information using the IPIC system.</p>	<p>0. Personnel plan, annual work plan, budget enforcement. 1. Utilization and maintenance of the machinery and equipment 2-1. Achievements of system operation and maintenance 2-2. Preparation of manuals. 3. Achievements of system utilization 4-1. Achievements of seminar 4-2. Number of terminal use for public service 4-3. Management of IP library</p>	<p>0. Organization chart, plan sheet, budget documents. 1. Register book of equipments 2-1-1. Specifications 2-1-2. Guide line for system development 2-1-3. Records of system maintenance 2-2. Manuals 3-1. Interview with counterparts 3-2. Manual for patent examiners 4-1. Records of seminar, list of participants, documents and brochure 4-2-1. Records of public use 4-2-2. Manual for public user 4-3. List of books collection</p>	<p>a. The counterparts who have undergone technological transfer do not resign. b. Machinery and equipment (hardware, software) do not become stale rapidly by technical innovation.</p>

Handwritten signature or initials at the bottom left.



<p><u>Activities</u></p> <p>0-1. Allocation staff planned. 0-2. Formulate operation plan. 0-3. Formulate and implement correctly budget plan. 1-1. Make a plan of implementation of equipment. 1-2. Install and operationalize equipment. 1-3. Maintain facilities and equipment. 2-1. Formulate plan of system planning. 2-2. Manage the system development 2-3. Operate the system 2-4. Maintain the system 2-5. C/P acquire technology about computer. 2-6. Manage the database of industrial property information 3-1. C/P acquire searching technic of personal computer 3-2. Do prior art search 3-3. C/P acquire patent examine method by using IPIC system 4-1. Disseminate industrial property information 4-2. Operate the dissemination activity by using IPIC system. 4-3. Operate and manage the seminar 4-4. Operate and manage IP library</p>	<p><u>Inputs on Japanese side</u></p> <p>(1) Dispatch of experts: long-term expert 6 persons short-term expert 22 persons in total (2) Acceptance of C/P training : 12 persons (3) Provision of machinery and equipment: approximately 240 million yen (4) Support to local cost approximately 7 million yen (up to October 1998)</p> <p><u>Inputs on Thai side</u></p> <p>(1) Allocation of C/P: 13 persons (8 persons in industrial property information 5 persons in system development) (2) Building and facilities: preparation of expert rooms construction of project building etc. (3) Machinery and equipment (4) Local cost</p>	<p>1. Financial situation of Thai government will not change for the worth immediately. 2. Industrial property information of foreign country can be get constantly.</p> <p><u>Pre-conditions</u></p> <p>a. Such infrastructure as electricity and communication is provided.</p>
--	--	--

Signature



Plan of Operation (PO) for IPIC Project

Activities			C/P NAME	SCHEDULE (Japanese Fiscal Year)																	
Major themes	Intermediate themes	Detailed themes		'95	'96	'97	'98	'99	'00	Implementation											
			II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	LE	SE	TJ	
Project operation unit will be enhanced.	Allocation staff planned.																				
	Formulate operation plan																				
	Formulate and implement correctly budget plan																				
Necessary machinery and equipment are provided and well-maintained.	Make a plan of implementation of equipment																				
	Install and operationalize equipment																				
	Maintain facilities and equipment																				
Construction, maintenance and management of computer system	Formulate systemization	Practical work of systematization	Mr. Pichet																		
		Analyze the problem and consider how to solve	Mr. Vichaya																		
		Plan the system	Mr. Somsak																		
		Manage the decision-making organizations	Ms. Ornsuangsak																		
		Formulate outline of system image	(Mr. Verasak)																		
		Formulate overall schedule	(Mr. Chaiyon)																		
	Manage the system development	Calculate basic numerical values	(Ms. Onsiree)																		
		Analyze and circulate labor or etc.																			
		Estimate time and amount of development, and preparation of schedule																			
		Design outlines of hardware/software materials																			
		Recognize and coordinate user needs																			
		Prepare detailed design																			
	Operate the system	Manage progress and specification	Mr. Pichet																		
		Test initial work after computer system introduction	Mr. Vichaya																		
		Operate routine work	Mr. Somsak																		
Maintain the system	Manage regular maintenance of hardware	Ms. Ornsuangsak																			
	Initial measures against irregularities of hardware/software																				
	Manage maintenance of hardware/software with irregularities																				
	Manage upgrading of software functions																				
	Acquire computer technology	Technologies relating to client-server model																			
		Technologies relating to operational system																			
		Technologies relating to database software																			
		Technologies relating to LAN																			
		Technologies relating to telecommunications method																			
		Technologies relating to CD-ROM jukebox																			
Manage the database of industrial property information	Technologies relating to servers and magnetic disks																				
	Internet telecommunications technologies																				
	Technologies relating to WEB server																				
	Technologies relating to FIREWALL server																				
Acquire examination technic using computer system	Technologies relating to DNS server																				
	Acquire database construction	Mr. Somchai																			
Prior art searching technic using computer system	Acquire operational skills of PC for searching	Acquire database management	Mr. Pattanasak																		
	Do prior-art search	Understand the function of search	Mr. Verasak																		
		Understand patent information PAJ	Mr. Chaiyon																		
		Understand International Patent Classification	Mr. Vichit																		
		Acquire Preparation technic of effective search formula	Mr. Chanchai																		
		Acquire searching technic of PAJ without network																			
		Acquire searching technic of Thai documentation through computer network																			
		Acquire searching technic of PAJ using network																			
Acquire searching technic of European patent documentation																					
Dissemination of industrial property information	Know-how of specific technological fields																				
	Disseminate industrial property information	Understand features of industrial property information	Ms. Onsiree																		
		Acquire utilization of industrial property information																			
		Understand current circumstances of industrial property services																			
	Operate the dissemination activity by using IPIC system	Know how to operate the IPIC system																			
Other activities	Disseminate IP information using existing system in the DIP																				
	Disseminate IP information using the Internet																				
	Operate and manage the seminar																				
	Operate and manage IP library																				

REMARK : Schedule line = : OFF J T (Training program or Seminar) , = : ON J T , - : Follow up
 SE (Long-term Expert) , SE (Short-term Expert) , TJ (Training in Japan) O = Instruction, O = Follow
 C/P names in () are indicating representative of user group

Handwritten signature or initials.



Annual Plan of Operation (APO) (1998 Japanese FY)

Activities Major themes	Activities Intermediate themes	Implementation	Schedule(Japanese Fiscal Year)													
			'98													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
Project operation unit will be enhanced.	Allocation staff planned.															
	Formulate operation plan															
	Formulate and implement correctly budget plan															
Necessary machinery and equipment are provided and well-maintained.	Make a plan of implementation of equipment	Equipments	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Install and operationalize equipment	Equipments	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Maintain facilities and equipment	Equipments	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
Construction, maintenance and management of computer system	Formulate systemization	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Manage the system development	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Operate the system	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Maintain the system	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Acquire computer technology	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Manage the database of industrial property information	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
Prior art searching technic using computer system	Acquire operational skills of PC for searching	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Do prior-art search	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Acquire examination technic using computer system	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
Dissemination of industrial property information	Disseminate industrial property information	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Operate the dissemination activity by using IPIC system	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Operate and manage the seminar	Long' Expert Short' Expert					=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
	Operate and manage IP library	Long' Expert Short' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=

Handwritten mark or signature at the bottom left of the table.

REMARK : Schedule line ≡ : OFF J T (Training program or Seminar) 、 = : ON J T、 - : Follow up

Annual Plan of Operation (APO)(1999 Japanese FY)

Activities	Activities	Implementation	Schedule(Japanese Fiscal Year)												
			'99												
Major themes	Intermediate themes		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
Project operation unit will be enhanced.	Allocation staff planned.														
	Formulate operation plan														
	Formulate and implement correctly budget plan														
Necessary machinery and equipment are provided and well-maintained.	Make a plan of implementation of equipment	Equipments	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
	Install and operationalize equipment	Equipments												=	
	Maintain facilities and equipment	Equipments	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
Construction, maintenance and management of computer system	Formulate systemization	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Manage the system development	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Operate the system	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Maintain the system	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
Acquire computer technology	Acquire computer technology	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Manage the database of industrial property information	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Prior art searching technic using computer system	Acquire operational skills of PC for searching	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=
			Short' Expert												
Do prior-art search		Long' Expert	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	=	≡	
	Short' Expert				≡								≡		
Dissemination of industrial property information	Acquire examination technic using computer system	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	≡	
		Short' Expert												≡	
	Disseminate industrial property information	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	≡	
		Short' Expert													
Dissemination of industrial property information	Operate the dissemination activity by using IPIC system	Long' Expert	=	=	=	≡	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													
	Operate and manage the seminar	Long' Expert				=	=	=	=	=	=	=	=		
		Short' Expert													
Dissemination of industrial property information	Operate and manage IP library	Long' Expert	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	=	
		Short' Expert													

REMARK : Schedule line ≡ : OFF J T (Training program or Seminar) , = : ON J T, - : Follow up



Technical Transfer Achievement

Activities			C/P NAME	Present Achievement (0-5)	Goal (0-5)	Proof of Achievement	
Major themes	Intermediate themes	Detailed themes					
Project operation unit will be enhanced.	Allocation staff planned.						
	Formulate operation plan						
	Formulate and implement correctly budget plan						
Necessary machinery and equipment are provided and well-maintained.	Make a plan of implementation of equipment						
	Install and operationalize equipment						
Construction, maintenance and management of computer system	Formulate systemization	Practical work of systematization	Mr. Pichet	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Analyze the problem and consider how to solve	Mr. Vichaya	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Plan the system	Mr. Somsak	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Manage the decision-making organizations	Ms. Ornsuang	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Formulate outline of system image	(Mr. Verasak)	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Formulate overall schedule	(Mr. Chaiyon)	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Calculate basic numerical values	(Ms. Onsrisee)	2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Analyze and circulate labor or etc.		2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Manage the system development	Estimate time and amount of development, and preparation of schedule		2	3	(Guide Line for Systematization)
			Design outlines of hardware/software materials		2	3	(Guide Line for Systematization)
	Recognize and coordinate user needs			2	3	(Guide Line for Systematization)	
	Prepare detailed design			2	3	(Guide Line for Systematization)	
	Manage progress and specification		Mr. Pichet	2	3	(Guide Line for Systematization)	
	Test initial work after computer system introduction		Mr. Vichaya	2	3	(Guide Line for Systematization)	
	Operate the system	Operate routine work	Mr. Somsak	3	3	(Guide Line for Systematization), System Manual	
	Maintain the system	Manage regular maintenance of hardware		2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Initial measures against irregularities of hardware/software		2	3	(Guide Line for Systematization), System Manual	
		Manage maintenance of hardware/software with irregularities		2	3	(Guide Line for Systematization)	
		Manage upgrading of software functions		2	3	(Guide Line for Systematization)	
	Acquire computer technology	Technologies relating to client-server model		3	3	System Manual	
		Technologies relating to operational system		2	3	System Manual	
		Technologies relating to database software		0.5	1	System Manual	
		Technologies relating to LAN		1	1	System Manual	
		Technologies relating to telecommunications method		1	1	System Manual	
		Technologies relating to CD-ROM jukebox		1	3	System Manual	
		Technologies relating to servers and magnetic disks		1	1	System Manual	
		Internet telecommunications technologies		1	3	System Manual	
		Technologies relating to WEB server		1	3	System Manual	
		Technologies relating to FIREWALL server		1	3	System Manual	
		Technologies relating to DNS server		1	3	System Manual	
Manage the database of industrial property information		Acquire database construction		2	3	System Manual	
		Acquire database management	Mr. Somchai	2	3	System Manual	
Prior art searching technic using computer system	Acquire operational skills of PC for searching	Understand the function of search	Mr. Pattanasak	4	5	User Manual	
		Do prior-art search	Mr. Verasak	4	5	Documents used in training course	
		Understand patent information PAJ	Mr. Chaiyon	3	5	Documents used in training course	
		Understand International Patent Classification	Mr. Vichit	2	5	Documents used in training course	
		Acquire Preparation technic of effective search formula	Mr. Chanchai	3	5	User Manual	
		Acquire searching technic of PAJ without network		3	5	User Manual	
		Acquire searching technic of Thai documentation through computer network		2	5	User Manual	
		Acquire searching technic of PAJ using network		6	5	User Manual	
		Acquire searching technic of European patent documentation		0.5	1	Documents used in training course	
		Dissemination of industrial property information	Disseminate industrial property information	Know-how of specific technological fields	Ms. Onsrisee	2	3
Understand features of industrial property information				2	3		
Acquire utilization of industrial property information				2	3		
Operate the dissemination activity by using IPIC system	Understand current circumstances of industrial property services			2	3		
	Know how to operate the IPIC system			2	3	User Manual	
Other activities	Disseminate IP information using existing system in the DIP		2	3	User Manual		
	Disseminate IP information using the Internet		1	3	User Manual, Home Page		
	Operate and manage the seminar		2	3	Records of seminar and brochure		
	Operate and manage IP library		2	3	List of books collection		

Remark: Achievement Level 0: Not instruct. 0.5: Under the instructions. 1: Instructed by Expert, C/P understand the substance, 2: C/P is able to carry out with the guidance of experts. 3: C/P is able to carry out without guidance of experts, 4: C/P is able to instruct others with guidance of experts, 5: C/P is able to instruct others without guidance of experts (Goal level would be set due to the type of technical transfer, it is not increased difficulty.)
 Indicator of achievement which is in () will be succeeded.
 C/P names in () are indicating representative of user group.

Contents of Joint Coordinating Committee

1. Progress in FY1997 (Apr.1997~Mar.1998)
 - (1) Changed point of plan in FY1997
 - (2) Equipment
 - (3) Japanese Experts (Long, Short)
 - (4) C/P training
 - (5) Activities (Seminar etc)
2. Present status of IPIC
 - (1) Outline of internet services
 - (2) Condition of data-base construction
 - (3) Seminar plan supported by special budget
3. Approval of PDM and PO
4. Working Plan in FY1998 (Apr.1998~Mar.1999)
 - (1) Equipment
 - (2) Japanese Experts (Long, Short)
 - (3) C/P training
 - (4) Activities (Seminar, IPIC introduction video etc)
5. IPIC project management
 - (1) Confirmation C/P organization chart
To revise the existing C/P organization chart according to the recent DIP restructuring
 - (2) Local Cost Plan
 - Cost of ISP
 - Cost for running and maintenance fee
 - Cost of scanning

Tentative schedule
 Moving to New Building Plan

Activities	1998		1999				
	NOV	DEC	JAN	FEB	MAR	APR	MAY
Building Procedure	←	→					
Contract		↔					
Cabling & Renovation			←	100 DAYS	→		
Acceptance				←	→		→
Moving & Installation						↔	

Equipment of IPIC Project (Step I - III)

Server, CD-ROM Changer, Desktop PC, Note-book PC

No.	Name / Model	Registration No.	Division / Floor	Step
1	NEC Express 5800 (DB Server)	7440-001-0001-79 IPIC1	IP Information Center/2	I
2	NEC Express 5800 (Internet Server)	7440-001-0001-198 IPIC	IP Information Center/2	III
3	NEC Express 5800 (Fire-Wall Server)	7440-001-0001-199 IPIC	IP Information Center/2	III
4	NEC Express 5800 (Juke-box Server)	7440-001-0001-200 IPIC	IP Information Center/2	III
5	PIONEER CD-ROM Changer	7440-001-0001-201 IPIC	IP Information Center/2	III
6	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-80/IPIC2	Registration & Doct. /B	I
7	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-81IPIC3	Registration & Doct. /B	I
8	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-82IPIC4	Examination 1 (Patent) /8	I
9	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-83/IPIC5	Examination 1 (Patent) /8	I
10	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-84IPIC6	Examination 1 (Patent) /8	I
11	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-85IPIC7	Examination 1 (Patent) /8	I
12	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-86IPIC8	Examination 1 (Patent) /8	I
13	NEC POWER MATE V100	7440-001-0001-87IPIC9	Examination 1 (Patent) /8	I
14	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-151 IPIC	Director, Service and Inf. /1	II
15	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-152 IPIC	Director, Examination 2 (TM) /4	II
16	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-153 IPIC	Director, Registration & Doct. /3	II
17	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-154 IPIC	Office of the Secretary /6	II
18	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-155 IPIC	Director, Technical & Planning /7	II
19	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-156 IPIC	Director-General/5	II
20	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-157 IPIC	Director, Examination 1 (Patent) /	II
21	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-158 IPIC	Technical & Planning /7	II
22	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-159 IPIC	Director, IP Right Violation /9	II
23	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-160 IPIC	Office of Director-General /5	II
24	Notebook NEC 4000C	7440-001-0001-161 IPIC	Office of Director-General /5	II
25	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-162 IPIC	Office of Director-General /5	II
26	Notebook NEC 6030H	7440-001-0001-163 IPIC	Director, IP Inf. Center /2	II
27	NEC POWER MATE V133e	7440-001-0001-164IPIC10	Japanese Expert /9	DIP
28	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-165IPIC11	Examination 1 (Patent) /8	II
29	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-166IPIC12	Examination 1 (Patent) /8	II
30	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-167IPIC13	Examination 1 (Patent) /8	II
31	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-168IPIC14	Examination 1 (Patent) /8	II
32	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-169IPIC15	Examination 1 (Patent) /8	II
33	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-170IPIC16	Examination 1 (Patent) /8	II
34	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-171IPIC17	Examination 1 (Patent) /8	II
35	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-172IPIC18	Examination 1 (Patent) /8	II

No.	Name / Model	Registration No.	Division / Floor	Step
36	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-173IPIC19	Examination 1 (Patent) /8	II
37	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-174IPIC20	Examination 1 (Patent) /8	II
38	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-175IPIC21	Examination 1 (Patent) /8	II
39	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-176IPIC22	Examination 1 (Patent) /8	II
40	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-177IPIC23	Examination 1 (Patent) /8	II
41	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-178IPIC24	Registration & Doct. /B	II
42	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-179 IPIC25	IP Information Center/2	II
43	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-180 IPIC26	IP Information Center/2	II
44	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-181 IPIC27	IP Information Center/2	II
45	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-182 IPIC28	IP Information Center/2	II
46	NEC POWER MATE V133e	7440-001-0001-183 IPIC29	IP Information Center/2	DIP
47	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-184 IPIC 30	Registration & Doct. /B	II
48	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-185 IPIC31	Registration & Doct. /3	II
49	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-186 IPIC32	MOSTE	II
50	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-187 IPIC33	MOSTE	II
51	NEC POWER MATE Ve120	7440-001-0001-188 IPIC34	Registration & Doct. /3	II
52	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-189 IPIC	Japanese Expert /9	III
53	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-190 IPIC	IP Information Center/2	III
54	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-191 IPIC	IP Information Center/2	III
55	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-192 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III
56	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-193 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III
57	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-194 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III
58	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-195 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III
59	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-196 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III
60	NEC POWER MATE P	7440-001-0001-197 IPIC	Examination 1 (Patent) /8	III

Scanner

No.	Name / Model	Registration No.	Division / Floor	Step
1	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-8 IPIC1	Japanese Expert /9	I
2	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-9 IPIC2	Registration & Doct. /B	I
3	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-10 IPIC3	Registration & Doct. /B	I
4	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-21 IPIC4	Registration & Doct. /3	II
5	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-22 IPIC5	IP,Information Center/3	II
6	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-23 IPIC6	Registration & Doct. /B	II
7	HP Scanjet 4c+autofeed	7440-009-0001-24 IPIC7	Registration & Doct. /B	II

Printer

No.	Name / Model	Registration No.	Division / Floor	Step
	Printer			
1	HP LaserJet 5 SI	7430-001-0002-50 IPIC1	IP Information Center/2	I
2	HP LaserJet 5 SI	7430-001-0002-51 IPIC2	IP Information Center/2	I
3	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-52 IPIC3	Registration & Doct. /3	I
4	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-53 IPIC4	Examination 1 (Patent) /8	I
5	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-54 IPIC5	Examination 1 (Patent) /8	I
6	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-55 IPIC6	Examination 1 (Patent) /8	I
7	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-56 IPIC7	Examination 1 (Patent) /8	I
8	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-57 IPIC8	Examination 1 (Patent) /8	I
9	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-58 IPIC9	Japanese Expert /9	I
10	HP Laserjet 5 M	7430-001-0001-105 IPIC10	IP Information Center/2	II
11	HP Laserjet 5 M	7430-001-0001-106 IPIC11	IP Information Center/2	II
12	HP Laserjet 5 M	7430-001-0002-107 IPIC12	IP Information Center/2	II
13	HP Laserjet 5 SI	7430-001-0002-108 IPIC13	MOSTE	II
14	HP DeskJet 340	7430-001-0002-80 IPIC	Director, Examination 2 (TM) /4	II
15	HP DeskJet 340	7430-001-0002-81 IPIC	Director, Registration & Doct. /3	II
16	HP DeskJet 340	7430-001-0002-82 IPIC	Director, Examination 1 (Patent) /8	II
17	HP DeskJet 340	7430-001-0002-83 IPIC	Office of the Secretary /6	II
18	HP DeskJet 340	7430-001-0002-84 IPIC	Director, Technical & Planning /7	II
19	HP DeskJet 340	7430-001-0002-85 IPIC	Director-General/5	II
20	HP DeskJet 340	7430-001-0002-86 IPIC	Technical & Planning /7	II
21	HP DeskJet 340	7430-001-0002-87 IPIC	Director, Service and Inf. /1	II
22	HP DeskJet 340	7430-001-0002-88 IPIC	Director, IP Right Violation /9	II
23	HP DeskJet 340	7430-001-0002-89 IPIC	Office of Director-General /5	II
24	HP DeskJet 340	7430-001-0002-90 IPIC	Office of Director-General /5	II
25	HP DeskJet 340	7430-001-0002-91 IPIC	Office of Director-General /5	II
26	HP DeskJet 340	7430-001-0002-92 IPIC	Director, IP Inf. Center /2	II

List of Attendants in the Meetings

The Thai side

Mr. Piphat Intarasupht	Director General
Mr. Santi Rattanasuwan	Deputy Director General
Ms. Phinich Mathurapote	Deputy Director General
Mr. Chookiat Krisanaphan	Deputy Director General
Mr. Weerawit Weeraworawit	Assistant Director General
Mr. Banyong Limprayoonwong	Assistant Director General
Mr. Narin Phasuntharatham	Director of Service & Information Division
Mr. Pichet Pentrakul	Director of Information Center of Intellectual Property
Mr. Boonarith Suwannapool	Director of Registration & Document Division
Mr. Somsak Panichayakul	Director of Second Examination Division
Ms. Pajchima Tanasanti	Director of Office of the Secretary
Mr. Pisanu Saksit	Director of Technical & Planning Division
Mr. Surat Tasanawijitwongs	Director of First Examination Division
Mr. Pilun Bhanich Supapol	Deputy Director of Technical & Planning
Mr. Banchong Amornchewin	Chief of Japan Sub-division External Cooperation Division 1 (DTEC)
Ms. Hataichanok Siriwat	Program Officer of Japan Sub-division External Cooperation Division 1 (DTEC)
Ms. Mayuree Pongpudpunth	Director of Scientific and Technological Information Division (MOSTE)
Ms. Waraporn Worasaweat	Head of Patent and Standard Information Sub-division Scientific and Technological Information (MOSTE)
Mr. Mongkol Somkhane	Director of Chantaburi Narunat Institute Ministry of Commerce




The Japanese side

Mr. Yoshiaki Iwasaki	Chief Adviser
Mr. Yoshiaki Miura	Coordinator
Mr. Shoji Kusano	JICA long-term expert
Mr. Hideyuki Okuno	JICA long-term expert
Mr. Keiichi Hiratsuka	JICA long-term expert
Mr. Masayoshi Watanabe	Leader of JICA Advisory Team
Mr. Akira Hongo	Member of JICA Advisory Team
Mr. Sadatsugu Tanaka	Member of JICA Advisory Team
Mr. Shinichi Asami	Member of JICA Advisory Team
Mr. Takaoki Harada	Member of JICA Advisory Team
Mr. Yoshitaka Sumi	JICA Thailand Office
Mr. Akio Nakamoto	JICA Thailand Office



参考 運営指導手一△調査報告概要

平成10年8月21日

タイ・工業所有権情報センタープロジェクト運営指導チーム
調査報告概要

第1 調査結果概要

本チームは、平成10年8月16日より8月22日までタイ国に滞在し、主に長期専門家との間で、本件事業のこれまでの活動実績と活動計画をとりまとめるとともに、プロジェクトの活動項目を確定し、それぞれの活動項目における現時点での達成度、目標とする達成度、指導方法（形態）及び必要となる投入について協議を行い、その結果を及びプロジェクトの基本概念（PDMのプロジェクト概要）案及び、プロジェクト活動計画及び技術移転達成度評価表案（別紙1）のとおりとりまとめたところ、調査概要は以下のとおりである。

1 プロジェクトの基本概念

(1) PDMプロジェクト概要案

長期専門家と協議の上、とりまとめたプロジェクト概要修正案は次のとおり。

上位目標

商務省知的財産局（DIP）の工業所有権行政に係る能力が向上する。

プロジェクト目標

DIPの工業所有権情報の活用に係る能力が向上する。

成果

0.プロジェクト組織・運営体制が整備される

1.必要な機材が整備され、適切に維持管理される

2.工業所有権情報システム（以下「システム」という）の構築・保守・管理を行うことのできるC/Pが育成される

3.システムを用いた先行技術調査を行うことのできるC/Pが育成される

4.システムを用いた工業所有権情報の普及広報を行うことのできるC/Pが育成される

活動

1-1 必要な人員を配置する

1-2 活動計画を策定する

1-3 予算計画を策定し、適切に実行する

2-1 機材の調達計画を作成する

2-2 機材を据えつけ、整備する

2-3 機材を維持管理する

3-1 システム化計画を策定する

- 3-2 システムの開発を管理する
- 3-3 システムを運用する
- 3-4 システムを保守する
- 3-5 コンピューターに関する技術が移転される
- 3-6 工業所有権データベースを管理する
- 4-1 システムを用いた審査技術が移転される
- 4-2 検索PCの操作技術が移転される
- 4-3 先行技術調査を行う
- 5-1 工業所有権情報を啓蒙する
- 5-2 システムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う
- 5-3 セミナーを開催・運営する
- 5-4 IPライブラリーを運営・管理する

(2) 主要な論点

ア. システム構築

(ア) 本プロジェクトでいうシステムとは、DIPの特許関連の検索系システムである「工業所有権情報システム」を指す。

(イ) システム構築は、システム化計画の策定から、システムの開発管理に至る一連の技術の集大成であり、本プロジェクトでは、右技術をシステム担当C/Pに対する技術移転項目のひとつとして位置づける。

(ウ) システムは、下記イ. にいう先行技術調査と、工業所有権情報の普及広報に必要な機材からなっており、これら機材の供与によって、このシステム構築に必要なハード及びソフト機材が整備される。

イ. システムを利用した審査

工業所有権の特許審査のうち、審査官が先行技術調査（本発明の出願前にどんな技術が存在したか、過去に権利を付与された技術の文献を調査すること）を実施することをいう。この先行技術調査のツールとして工業所有権情報システムを用いて、文献の検索を行う。

先行技術調査の結果、DIPの審査官は先行技術と本発明との比較を行い、審査基準にもとづいて新規性、進歩性の判断を行い、最終処分を行う。本プロジェクトでは、この比較判断のための技術移転までは含まないが、先行技術調査に付随した情報提供として、特定技術分野の審査ノウハウを提供する。

(3) PDMの修正案の作成

今時調査では、プロジェクト概要を除く、指標、入手手段、外部条件については、専門家と十分議論する時間がなかったが、昨年10月のPDMをもとに、より妥当な

指標の設定について方向性を議論し、今後、今秋の巡回指導調査までにプロジェクトを中心に修正案を作成していくこととした。

2 プロジェクト活動計画と技術移転達成度評価表案

これまでの「中間評価」作業を通じ、長期専門家より提示のあった技術移転対象項目とその進捗状況資料をもとに、プロジェクト活動計画・技術移転達成度評価表の案を作成し、長期専門家との協議を通じ、日本側の共通認識として、最終的に別紙1のようにとりまとめた。主要なポイントは次のとおり。

- (1) 上記1のPDMプロジェクト概要修正案と同様に、技術移転に関わる主な活動項目を、ア、システム構築・保守・管理、イ、システムを用いた検索、ウ、システムを用いた工業所有権情報の普及広報の3つに区分した。
- (2) 技術移転達成目標のレベルを、1（C/Pが内容を理解する）、3（専門家の指導なしにC/Pが実施できる）、5（専門家の指導なしにC/Pが技術指導できる）の3種類に区分し、各活動項目ごとに目標を確認した上で、現在の進捗状況（「未実施」～「専門家の指導なしにC/Pが技術指導できる」の7段階）を確認した。
- (3) 技術移転が達成した状況を示すための成果品として、ガイドライン、マニュアル、OJT実施回数などの指標を整理した。これらは、PDMの「プロジェクト成果」のC/P育成の指標となることを確認した。
- (4) 各活動項目の5カ年の活動スケジュールとして、専門家による技術移転活動の種類として、ア、説明会や訓練講習等のOffJ T、イ、DIPの業務遂行を通じたOJT、ウ、OJT終了後のフォロー（必要時における助言指導）の3種類を区分して、実績及び今年度以降の計画を書き入れた。
- (5) 各活動項目についての主たる指導形態を、長期専門家、短期専門家、及び研修員受け入れに区分して記入した。
- (6) 本資料は、日本側の認識統一のための手持ち資料とし、タイ側との関係においては、今後今秋の中間評価（レビュー）における協議に向けて、本資料を活動スケジュールとしてのPLAN OF OPERATIONS (PO)（日本語のイメージサンプルとして別紙4-1）、及び技術移転達成度評価表としてのTECHNICAL TRANSFER EVALUATION FORM（日本語のイメージサンプルとして別紙4-2）に分けてとりまとめていくこととし、プロジェクト主体で作成していくこととした。なお、後者のTECHNICAL TRANSFER EVALUATION FORMは、PDMの「プロジェクト成果」のC/P育成の指標となることを確認した。

3 10年度活動計画

上記3の作業を通じ、調査団と専門家との間で、10年度の活動項目、活動の種類を確

認するとともに、10年度の投入計画案を別紙2-1及び2-2のとおり確認した。なお、今後さらに両者の間ですり合わせを行った上で、今秋の巡回指導調査に向けて、プロジェクト主体で、本資料をANNUAL PLAN OF OPERATIONS (APO) (日本語のイメージサンプルとして別紙4-3)にとりまとめていくこととした。

4 DIPとの協議

日本人専門家との協議の前後に、ピバット局長表敬、及びサンチ副局長との間で、協議確認を行った概要は以下のとおり。

(1) ピバット局長からは、プロジェクト専門家への謝意とともに、表敬日の午前中に、プロジェクトC/Pによるインターネットシステムのデモンストレーションが行われたためもあり、右システムを通じた一般国民への啓蒙普及への期待が多く語られた。

(2) 予算及び通貨危機の影響

タイ側から、次のとおり説明があった。

ア. 通貨危機の影響

(ア) DIP自体の予算は、97年度(96年10月～97年9月)に1億1千万パーツの配賦があったのに対し、98年度は1億37百万パーツの当初予算に対して1億12百万パーツの配賦となっており、実質的にはほぼ横這いであるも、当初予算額に比して、27%の減となっている旨説明があった。

(イ) 登録済みのタイ語願書をイメージデータとするためのスキャニングにかかる臨時要員雇上経費は、予算削減のため、対処すべき1万件のうち、97年度は1500件分しか対応することができなかった。1件あたり、平均30ページであり、1ページあたり5～6パーツかかる計算となっている。なお、98年度の予算として、60万パーツが追加配賦されることとなったため、約4000件余のスキャニングが行えることとなった。(調査団からは、JICAより400万円の緊急支援一残る4000件余分の経費に相当一を予定していることを補足説明)

(ウ) プロジェクト関連予算は、R/D締結時のミニッツで約した予算は確保してきている。

イ. 機材維持管理関連予算

(ア) コンピューター関連では、プロジェクトの所掌する工業所有権情報システムに対して、97年度は450万パーツ、98年度は5百万パーツと、横並びの予算額を確保しているが、98年度からは、インターネットプロバイダーとの契約に130万パーツを要し、他の予算項目に割込む状況となっている。

(イ) なお、98年度は、新庁舎への移転に先立ち、移転配線工事のための予算として、3億パーツが商務省に追加配賦されるので、DIPはその4分の1程度は追加的に確保できる見込みである。

(ウ) 99年度予算の認可は9月となるが、要求ベースではコンピューターの機材維持管理経費として、9百万パーツを要求している。保守管理契約が、機材調達後1年終了後から必要となってくるため徐々に経費が増えてきている。要求ベースの金額は通常17%~30%減で認可されることとなるが、とりあえず予算要求ベースの詳細は別途提出したい。(別紙5のとおり)

(3) 新庁舎への移転時期

タイ側からは、次のとおり説明があった。

- ア. 現状では、9月に新庁舎の建設が完了する。9月から11月にかけて建築基準検査が行われ、12月からは、コンピューター用ラインの実装を行う予定。したがって、実際の移転は1月から2月を予定している。
- イ. 移転が本プロジェクトの実施に支障を与えないよう、移転による業務日数のロスは2~3日にとどめる予定である。

(4) 中間評価(レビュー)と評価5項目

- ア. 調査団より、日・タイ合同の終了時評価では、評価5項目の観点から行うことを説明した。特に、プロジェクト終了後の自立発展性の重要性、技術面のみならず、特に財政的な自立発展性を強調した。現在専門家と本邦の間で行っている中間評価作業は、終了時評価を念頭において、技術移転の内容と活動計画の見直し検討を行うためのものであることを補足した。
- イ. 調査団より、今秋の巡回指導調査時には、タイ側との間で中間評価(レビュー)を実施する予定であり、評価5項目による厳密な評価は行わないが、これらを念頭において、これまでの活動の実績及び成果のレビューと今後の活動計画の策定を行うことを説明し、調査団来訪時まで、今回チームが専門家ととりまとめた議論を、さらに専門家とタイ側ですりあわせていくように依頼した。

(5) PDMのプロジェクト概要の見直し

- ア. 調査団より、今回専門家との間でとりまとめた修正案の英文仮訳(別紙3)を提示し、上記(4)イ.の中間評価(レビュー)において、PDMの見直し検討もあわせて行うことを説明した。タイ側からは、昨年10月の調査団来訪時に合意したPDMの内容を、プロジェクト概念の明確化のために再整理することは賛成であるが、今次修正案では上位目標がDIP内の行政改善にとどまっており、対外的なインパクトが表現されていない印象をもつとのコメント等があり、さらに内部で検討の上、PDMの修正案に関するタイ側コメントを専門家経由で提出したいとの発言があった。
- イ. PDMの修正手続きに関し、調査団からは、残る協力期間を勘案すると、R/D締結時のM/Pの変更、すなわちR/D自体の改訂は現実的ではなく、同M/Pを踏襲したプロジェクト概要に、今秋の巡回指導調査の結果合意したプロジェクト概要

を「プロジェクト概要の詳細」として併記したPDMを作成し、タイ側はDTEC、及び日本側は外務省の理解をとりつける方法が望ましいことを説明し、タイ側は理解を示しつつも、あわせて内部で早急に検討したいとした。

(6) その他

タイ側からは、ソフトウェアの自己メンテナンスの点から、著作権の所在につき、照会があり、調査団からは、昨年度供与のソフトウェアからは、著作権がJICAに譲渡されていること、それまでの供与済みソフトウェアについては、事前にNECの理解をとりつけることにより、ソフトウェアの改編が可能となるよう、NECとの合意形成を検討中であることを返答した。

第2 調査団所見（及び留意点）

1 関係者間での十分な議論を通じたPDMの有用性

本プロジェクト開始時には、PDMは正式に導入されておらず、またその後、JICAとしても、計画・運営管理・評価のプロセスに一貫した論理としてのPDMの活用については、試行錯誤の段階にあり、その意味でプロジェクトの基本概念（目的、範囲、内容）について関係者間の認識を必ずしも一致させないまま案件が開始されたきらいがあり、特に機材の投入規模・内容の妥当性をめぐり、関係者間で議論の不一致を生じていた。このため、認識の共有化を目的として本年3月より専門家と本邦との間で着手した中間評価作業をめぐっても、双方の意図が必ずしも明確に理解されない原因となっていた。

PDMは、関係者間でプロジェクトの概念を共有化するためのコミュニケーションの道具であるとともに、技術移転を円滑に進めるための進捗管理と最終的な評価の道具であり、これ自体の洗練さの追求及び厳密な解釈論のみに囚われることは、かえって、計画・実施の柔軟さを失わせる恐れがあり得策ではないが、今回PDMのもつ論理性を活用して、チームと専門家との間で活動項目及び技術移転の対象項目を綿密に議論することで、関係者間の言語が明確となり、結果としてプロジェクトの基本概念も明確にすることができた。

今後、いずれの案件においても、実施計画の策定段階（事前調査、短期調査、実施協議調査）において、専門家候補者も含めた関係者間で、プロジェクト方式技術協力事業の枠組みを理解いただいた上で、PDMの論理を利用した十分な議論を行うことが重要であると痛感した。

2 本プロジェクトの進捗状況及び自立発展性の促進

今回の活動計画・技術移転達成度評価表の検討作業の結果、本プロジェクトにおいては、専門家の尽力、及びC/P側の相対的に高い資質と努力によって、タイ側への技術移転は総じて円滑に進んでいることが確認できた。今回整理した技術移転にかかわる終了時の目標設定及び達成度評価の枠組みによって、今後さらに円滑な運営管理及び進捗が促進され

ることが期待される。

今後、残る協力期間を勘案し、タイ側に対する技術移転の定着と自立的な活動の継続を確実にするため、専門家の方々には今後ともガイドライン、マニュアル等の成果品の形成をお願いしたい。また、システムの自立的な保守・管理のために、プロジェクトで検討されているような、供与機材としてのソフトウェアの現地開発についても、JICA本部において、その実現性を積極的に検討することとしたい。

また、タイ側によるソフトウェアの将来的な変更・拡張について、著作権の使用については問題がないと考えられるが、システム全体における整合性の観点から、コンピューター・システム専門家からは、変更仕様については、事前に特許庁等より助言を受けた方が望ましいとの意見も出されていることから、タイ側への著作権の使用承認にあたっては、事前の変更仕様の提出等のルールを設定しておくことが必要であろう。

3 タイ側の実施体制について

- (1) 懸念された通貨危機の影響は、DIPにおいても少なくないが、本プロジェクトに対しては、DIPとしても高い優先順位をおいており、タイ側の現在の努力について評価したい。移転スケジュールや、機材維持管理に必要な経費負担状況をふまえて、プロジェクトにおかれても、今後も継続的なモニターをお願いしたい。
- (2) システム構築・保守・管理については、担当C/Pが4人と、その陣容が薄く、さらに人員配置を求めるべきとの意見が長期専門家より出されており、今後専門家チームにおいても、タイ側の具体的な人員配置の望ましい体制について、継続的にモニター、並びに助言・指導いただきたい。
- (3) なお、審査業務のうちで、先行技術調査は、オーストラリアの無償協力による委託が昨年で終了し、今年から自力での実施が開始されたところである。本プロジェクトの中で支援する先行技術調査の進展状況を把握する上においても、具体的な審査実務の実態をあわせてモニターすることが重要かと思われる。

タイ工業所有権情報センター 運営指導チーム（団員及び日程）

1. 調査団員

氏名	担当業務	所属
桑島 京子	総括	国際協力事業団 鋳工業開発協力部 鋳工業開発協力第一課 課長
長屋陽二郎	技術協力計画	通商産業省 特許庁 総務部 国際課 課長補佐
原田 隆興	運営管理	国際協力事業団 鋳工業開発協力部 鋳工業開発協力第二課 職員

2. 調査日程・派遣期間 1998年8月16日（日）～8月22日（土）

日順	月日	曜	時間	行程
1	8/16	日	11:00 15:15	成田発（JL717） バンコック着 専門家との打合せ（1）
2	8/17	月	午前 午後	JICA事務所との打合せ DIP局長表敬 IPICとの打合せ（1） （日程、運営指導の取進めぶり及び先方実施体制の確認） 専門家との打合せ（2）
3	8/18	火	終日	専門家との打合せ（3）
4	8/19	水	終日	専門家との打合せ（4） （団長は、午後、タイ生産性向上プロジェクトC/P、専門家との打合せ）
5	8/20	木	終日	専門家との打合せ（5） （団長は、午前、タイ繊維・衣料製品品質向上プロジェクトC/P、専門家との打合せ）
6	8/21	金	午前 午後	IPICとの打合せ（2）（Wrap-up） 専門家との打合せ（6）（Wrap-up） JICA事務所報告
7	8/22	土	08:45 16:35	バンコック発（JL708） 成田着

平成10年度年間計画総表

国名：タイ / プロジェクト名：工業所有権情報センター

(平成10年8月21日改定)

項目	内容(概要、種別、氏名、分野名)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	(第4年目計画) 1)システムの構築・保守・管理技術 2)インターネットに関する技術 3)タイ文献ネットワーク検索技術 4)PAJネットワーク検索技術 5)インターネットによる普及広報 6)欧州文献の検索技術												
調査団派遣	巡回指導調査団							====					
専門家派遣	長期 1) 岩崎嘉章 (チーフアドバイザー) 2) 丸山智恵子 (業務調整) 3) 三浦義章 (業務調整) 4) 草野正二 (工業所有権情報要交替) 5) 奥野英幸 (コンピュータシステム) 6) 和田秀男 (研修・広報普及) 7) 平塚敬一 (研修・広報普及)	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
	短期 1) コンピュータエンジニアリング (インターネット関係技術) 2) コンピュータエンジニアリング (システム開発管理) 2名 3) コンピュータエンジニアリング (データベース管理技術) 4) コンピュータエンジニアリング (先行技術調査) 5) 審査技術 (技術分野についてはニーズを分析しプライオリティを検討して決定) 2名)				2名				1名		1名		
研修員受入	1) 特許情報運営管理 (1名) 2) コンピュータシステム (2名)									1名 2名			
機材供与	要望金額：30,000千円 サイト到着希望時期												=====

(註) 記入欄が不足する場合は、同一様式を複写のうえ2枚以降に記入してください。短期専門家及び研修生受入については、優先順位の上位の者から記入して下さい。

<欧州文献CD-ROMジュークボックスを供与することが必要な理由>

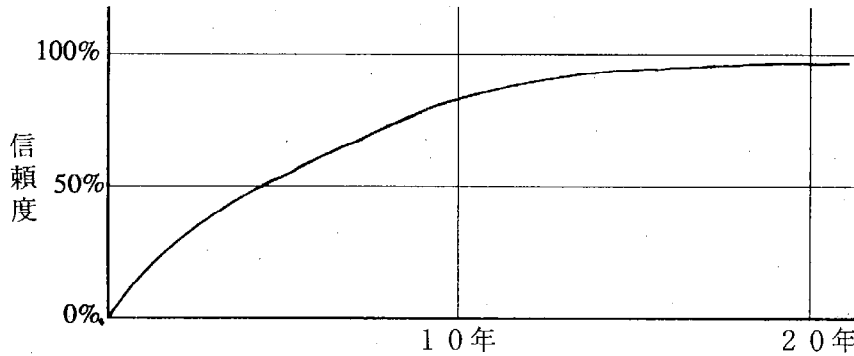
平成10年8月21日

I. 10年分の先行技術文献を見なければならない理由
(なぜ10年分か)

1. 特許審査においては、出願の先行技術を調査することが必須であるところ、原則としては審査官は過去の全ての先行技術を調査しなくてはならないこととなっている。

2. しかしながら①過去の文献を全て調査するのは膨大を要するし現実的ではない、②技術は常に進歩しているのであまり古い文献は先行技術とならないことが多い、との理由で、通常(日本特許庁の場合)、20年分の先行技術調査を行う。日本特許庁審査官の経験則では実質的に95%以上の信頼度のある先行技術調査ができる。

3. ここで知的財産局(DIP)に欧州文献調査の技術移転をする場合に置いては、必ずしも先進国並の信頼度を求める必要がないので、費用対効果の優れていると考えられる10年分の先行技術調査を行えるようにすることが適切と考えられる。日本特許庁審査官の経験では10年分で、70~80%程度の信頼度はあると思われる(下図参照)



先行技術調査範囲

4. 先行技術調査範囲を10年未満とした場合は少なくとも以下の問題が生ずる。

①先行技術調査の信頼度が低下(約70~80%以下と推定)し、瑕疵のある特許権が多く設定されることになる。これらが、特許侵害訴訟等で特許性を否定されることが予測され、特許制度の価値が大きく低下する。

②他の特許制度は、審査請求制度を採用しているため常に出願時に審査する訳でない(審査請求期間は5年)。したがって、場合によっては10年分見ることができない場合もあり、少なくとも10年分の蓄積範囲は必要である。

II. タイ国においてジュークボックスで検索しなければならない理由 (精度)

1. 現在欧州文献CD-ROMは10年度分で約2000枚弱ある。たとえば、二次文献等により先行技術を30件程度に絞り込んだとしても、それらは30枚弱のCD-ROMにばらばらに収録されており、それらをいちいちCD-ROM置き場から取ってきて手差しにしなければならない。現実的にはそのような運用は考えにくい。

2. タイの特許審査の状況の概要は以下の通りである (推定*)

- ・ 97年出願数 約5,400件
 - 外国から 約5,200件
 - タイ国内 248件
- ・ 97年審査請求件数 (請求率50%と推定、cf.日本は60~70%)
 - 全体 約2,000件* (審査官1人当たり約100件)
 - 外国から 約1,900件* (審査官1人当たり約95件)
 - タイ国内から 約100件* (審査官1人当たり約5件)
- ・ 97年特許件数
 - 全体 約700件 (審査官1人当たり約35件)
 - 外国から 684件 (審査官1人当たり約34件)
 - タイ国内から 22件 (審査官1人当たり約1件)
- ・ 97年拒絶件数 約500件* (96年サンチ副局長より聴取)
- ・ 97年審査件数
 - 全体 約1,200件* (審査官1人当たり約60件)

3. オーストラリアの審査協力がなくなった現在少なくとも国内出願については自力で先行技術調査を行う必要がある。

4. また外国出願についても、以下の理由により徐々に自力審査ができるようになる必要がある。

- ①そもそも特許出願を特許にするか否かは、国の主権にかかわる問題であり、外国出願はすべて外国の審査結果に盲従することは、工業国入りをめざすタイにふさわしいことではない。
- ②日本や欧州は審査請求制度があるので、外国の審査結果が得られないケースが存在する。
- ③上記とも関連して、なかなか外国の審査結果が得られない場合があり、ひたすら外国の審査結果を待つというのは不適切であると考えられる。
- ④外国とタイで特許請求の範囲が異なる場合が存在する。

TENTATIVE PDM FOR THE IPIC

Narrative Summary

Overall Goal

Industrial Property Administration by the DIP is improved.

Project Purpose

The abilities of the DIP regarding utilization of industrial property information are enhanced.

Outputs

0. Project operation unit will be enhanced.
 1. Necessary machinery and equipment will be provided, installed, operated and maintained properly.
 2. Counterparts will be trained to be able to construct, operate and maintain the IPIC system.
 3. Counterparts will be trained to be able to conduct prior art search using the IPIC system.
 4. Counterpart will be trained to be able to disseminate industrial property information using the IPIC system.

Activities

活動計画表 (PO) (案)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	活動 (小項目)	C/P氏名	スケジュール (日本予算年度)																			
				95			96			97			98			99			00				
				I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV	I	II	IV	投入	長期	短期	研修	
プロジェクトの組織運営体制が整備される	必要な人員を配置する																						
	活動計画を策定する																						
	予算計画を策定し、適切に実行する																						
	機材の調達計画を作成する																						
必要な機材が整備され適切に維持管理される	機材を搬入付け整備する																						
	機材を維持管理する																						
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	業務実態を把握する	Mr. Pichet																				
		問題分析と解決方法を検討する	Mr. Vichaya																				
		システムを企画立案する	Mr. Somsak																				
		意志決定に係る組織を運営する	Ms. Ornuang																				
		概要システムイメージを策定する	(Mr. Verasak)																				
		全体スケジュールを作成する	(Mr. Chaiyon)																				
		各種基礎数値を算出する	(Ms. Onsiree)																				
	処理努力等を分析・整理する																						
	システムの開発を管理する	開発費用、期間、スケジュールを作成する																					
		ハード機材及びソフトウェア機材の概要を設計する																					
概要設計をベースにユーザーニーズを把握調整する																							
詳細設計書を作成させる																							
システムを運用する	進捗・仕様の管理を行う	Mr. Pichet																					
	受入テストを行う	Mr. Vichaya																					
システムを保守する	日常のオペレーションを行う	Mr. Somsak																					
	ハードの定期保守を管理する	Ms. Ornuang																					
コンピュータに関する技術を得得する	ハードウェアの異常時の一次対応を行う																						
	ソフトウェアの異常時保守を管理する																						
	ソフトウェアの機能拡張を管理する																						
	ソフトウェアに関する技術を得得する																						
	OSについての技術を得得する																						
	データベースについての技術を理解する																						
	LANについての技術を理解する																						
	通信方式についての技術を理解する																						
	CD-ROM/フロッピーディスクについての技術を得得する																						
	ハード並びに磁気ディスク機器に関する技術を理解する																						
工業所有権データベースを管理する	データベースの構築技術を得得する	Mr. Somchai																					
	データベースの管理技術を得得する	Mr. Pattanasak																					
システムを用いた検索技術を行う	検索PCの操作技術を得得する	Mr. Verasak																					
	先行技術調査を行う	Mr. Chaiyon																					
		Mr. Vichit																					
		Mr. Chanchai																					
工業所有権情報の普及広報を行う	システムを用いた審査技術を得得する																						
	工業所有権情報を啓蒙する	Ms. Onsiree																					
	各種工業所有権情報の性質を理解する																						
	工業所有権情報の活用方法を得得する																						
	工業所有権情報サービスの現状を理解する																						
IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及広報を行う	システム操作技術を理解する																						
	DIP内蔵法を用いて工業所有権情報を普及する																						
	インターネットを用いて工業所有権情報を普及する																						
	その他活動																						

注: スケジュール = OFFJT (説明会実施、トレーニング等)、= ONJT、- : アフターフォロー
 長期 (専門家)、短期 (専門家)、研修 ○-主体、○-補充
 C/P氏名 () は、ユーザー代表として参加することを示す

技術移転達成度評価表 (案)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	活動 (小項目)	C/P氏名	現在達成度 (0-5)	目標達成度 (0-5)	成果品		
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	業務実体を把握する	Mr. Pichet	2	3	(システム開発が完了)		
		問題分析と解決方法を検討する	Mr. Vichaya	2	3	(システム開発が完了)		
		システムを企画立案する	Mr. Somsak	2	3	(システム開発が完了)		
		意志決定に係る組織を運営する	Ms. Omsuang	2	3	(システム開発が完了)		
		概要システムイメージを策定する	(Mr. Verasak)	2	3	(システム開発が完了)		
		全体スケジュールを作成する	(Mr. Chaiyon)	2	3	(システム開発が完了)		
		各種基礎数値を算出する	(Ms. Onsiree)	2	3	(システム開発が完了)		
		処理努力等を分析・整理する		2	3	(システム開発が完了)		
		システムの開発を管理する	開発費用、期間、スケジュールを作成する		2	3	(システム開発が完了)	
			ハード機材及びソフトウェア機材の概要を設計する		2	3	(システム開発が完了)	
	概要設計を「システム」を把握調整する			2	3	(システム開発が完了)		
	詳細設計書を作成させる			2	3	(システム開発が完了)		
	進捗・仕様管理を行う		Mr. Pichet	2	3	(システム開発が完了)		
	受入テストを行う		Mr. Vichaya	2	3	(システム開発が完了)		
	システムを運用する		日常のオペレーションを行う	Mr. Somsak	3	3	(システム開発が完了)、システム7%	
			システムの定期保守を管理する	Ms. Omsuang	3	3	(システム開発が完了)	
	システムを保守する		ハード・ソフトの異常時の一次対応を行う		2	3	(システム開発が完了)、システム7%	
			ハード・ソフトの異常時保守を管理する		2	3	(システム開発が完了)	
	コンピュータに関する技術を習得する	工業所有権データベースを管理する	クライアントサーバに関する技術を習得する		3	3	システム7%	
			OSIについての技術を習得する		2	3	システム7%	
データベースに関する技術を理解する				0.5	1	システム7%		
LANIについての技術を理解する				1	1	システム7%		
通信方式についての技術を理解する				1	1	システム7%		
CD-ROMディスクに関する技術を習得する				1	3	システム7%		
サーバ並びに磁気ディスク機器に関する技術を理解する				1	1	システム7%		
インターネット通信技術を習得する				1	3	システム7%		
WEBサーバに関する技術を習得する				1	3	システム7%		
FIREWALLサーバに関する技術を習得する				1	3	システム7%		
DNSサーバに関する技術を習得する				1	3	システム7%		
データベースの構築技術を習得する			Mr. Somchai	2	3	システム7%		
データベースの管理技術を習得する			Mr. Pattanasak	2	3	システム7%		
システムを用いた検索技術を行う			検索PCの操作技術を習得する	検索機能を理解する	Mr. Verasak	4	5	ユーザマニュアル
				先行技術調査を行う	Mr. Chaiyon	4	5	講習会資料
	国語特許分類を理解する	Mr. Vichit		3	5	講習会資料		
	効果的な検索式の作成技術を習得する	Mr. Chanchai		2	5	講習会資料		
	PAIシステムでの検索技術を習得する			3	5	ユーザマニュアル		
	システムを用いた審査技術を習得する	PAIシステムでの検索技術を習得する		3	5	ユーザマニュアル		
		PAIシステムの検索技術を習得する		2	5	ユーザマニュアル		
		PAIシステムの検索技術を習得する		2	5	ユーザマニュアル		
		PAIシステムの検索技術を習得する		0	5	ユーザマニュアル		
		PAIシステムの検索技術を習得する		0.5	1	講習会資料		
工業所有権情報の普及・広報を行う	工業所有権情報を啓蒙する	各種工業所有権情報の性質を理解する	Ms. Onsiree	2	3	セミナー開催記録、パンフレット		
		工業所有権情報の活用方法を習得する		2	3	セミナー開催記録、パンフレット		
		工業所有権情報サービスの現状を理解する		2	3	セミナー開催記録、パンフレット		
	IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及・広報を行う	IPICシステムを用いて工業所有権情報を理解する		2	3	ユーザマニュアル		
		DIPインテグレーションを用いて工業所有権情報を普及する		2	3	ユーザマニュアル		
		インターネットを用いて工業所有権情報を普及する		1	3	ユーザマニュアル、ホームページ		
		その他の活動		2	3	セミナー開催記録、パンフレット		
			2	3	文献管理リスト			

注: 達成度 0: 未実施, 0.5: 専門家が実施・C/Pが内容理解不十分, 1: 専門家が実施・C/Pが内容理解, 2: 専門家の指導下C/Pが実施可能, 3: 専門家の指導無しでC/Pが実施可能, 4: 専門家の指導下C/Pが技術指導, 5: 専門家の指導無しでC/Pが技術指導
 (目標達成度は、活動の内容によって設定されるものであり、必ずしも、達成度レベルの高低を示すものではない)
 成果品 () は作成予定のもの
 C/P氏名 () は、ユーザー代表として参画することを示す

年次活動計画表 (APO) (案)

活動 (大項目)	活動 (中項目)	投入	スケジュール (日本予算年度)												
			'98												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
プロジェクトの組織運営体制が整備される	必要な人員を配置する														
	活動計画を策定する														
	予算計画を策定し、適切に実行する														
必要な機材が整備され適切に維持管理される	機材の調達計画を作成する	機材													
	機材を据え付け整備する	機材													
	機材を維持管理する	機材													
システムの構築・保守・管理を行う	システム化計画を策定する	長専 短専													
	システムの開発を管理する	長専 短専													
	システムを運用する	長専 短専													
	システムを保守する	長専 短専													
	コンピュータに関する技術を習得する	長専 短専													
	工業所有権データベースを管理する	長専 短専													
	システムを用いた検索技術を行う	検索PCの操作技術を習得する	長専 短専												
先行技術調査を行う		長専 短専													
システムを用いた審査技術を習得する		長専 短専													
工業所有権情報の普及広報を行う	工業所有権情報を啓蒙する	長専 短専													
	IPICシステムを用いて工業所有権情報の普及	長専 短専													
	セミナーを開催・運営する	長専 短専													
	IPライブラリーを運営・管理する	長専 短専													

DIP FISCAL YEAR (1997-1998) BUDGET

Total Budget	137	million	Bath	Get	112	million	Bath	Decrease -18%
1. <u>Concerning Computer</u>	11		M	1. <u>Concerning Computer</u>	8		M	-27%
1.1 IPIC System	7		M	1.1 IPIC System	5		M	-28%
1.2 DIP System	4		M	1.1.1 Maintenance	2.9		M	
2. <u>Others</u>	126		M	1.1.2 ISP	1.4		M	
				1.1.3 Leased Line	.1		M	
				1.1.4 Data Entry	.6		M	
				1.2 DIP System	3		M	-25%
				1.2.1 Maintenance	2.7		M	
				1.2.2 Others	.3		M	
				2. <u>Others</u>	104		M	-17%

DIP FISCAL YEAR 1998-1999 BUDGET
(Proposed)

Total Budget	127	million	Bath
1. <u>Concerning Computer</u>	9.5		M
1.1 IPIC System			
1.1.1 Maintenance	4.0		M
1.1.2 ISP	1.4		M
1.1.3 Leased Line	.1		M
1.1.4 Data Entry	1.0		M
1.2 Dip System			
1.2.1 Maintenance	2.5		M
1.2.2 Others	.5		M
2. <u>Others</u>	117.5		M

主要面談者

Thai-Side

DIP

1.Mr. Piphat	Intarasupht	Director General
2.Mr. Santi	Rattanasuwan	Dputy Director General
3.Mr.Surat	Tassanawijitwong	Director Examination Division 1 (Patent)
4.Mr. Pichet	Pentrakul	Director Intellectual Property Information Center
5.Mr.Pilun	Bhanich-supapol	Deputy Director (Acting Director) Technical and Planning Division
6.Mr. Somchai	Kijsirichareanchai	Deputy Director Registration & Documentation Division
7.Ms. Onsiree	Nooprom	Deuty Director Intellectual Property Information Center
8.Mr. Chaiyon	Arnupapphan	Patent Examiner (Acting as computer sysstem analyst) Examination Division 1 (Patent)
9.Ms. Chuleegon	Koatnon	Patent Examiner Examination Division 1 (Patent)

Japanese-Side

JICA Thailand Office

1.Mr. Sumi Yoshitaka 鷺見 佳高	Deputy Resident Representative 次長
2.Mr. Hirofumi Hayashi 林 浩史	Assistant Resident Representative 副参事
3.Mr. Nobuyuki Konishi 小西 伸幸	Assistant Resident Representative 副参事

IPIC Project

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. Mr. Yoshiaki Iwasaki
岩崎 嘉章 | Chief Advisor (Project Leader)
チーフアドバイザー |
| 2. Mr. Yoshiaki Miura
三浦 義章 | JICA Coordinator
調整員 |
| 3. Mr. Shoji Kusano
草野 正二 | JICA Expert (Industrial Property Information)
長期専門家 (工業所有権情報) |
| 4. Mr. Hideyuki Okuno
奥野 英幸 | JICA Expert (Computer System)
長期専門家 (コンピュータシステム) |
| 5. Mr. Keiichi Hiratsuka
平塚 敬一 | JICA Expert (Industrial Property (Training and Dissemination))
長期専門家 (研修・広報普及) |

C/P 略歴一覽表

	氏名	年齢	職位	所属	最終学歴	配置時期
1	Mr.Pilun Bhanich Supapol	45	Deputy Director (Acting Director)	Technical & Planning Div.	MA.Economics	Sep.,1997
2	Mr.Chumpichai Svasti-Xuto	41	Deputy Director	Technical & Planning Div.	MA. International Economics	Dec.,1997
3	Ms.Narumon Srikumklip	28	Commercial registration Analyst	Technical & Planning Div.	BBA.Accounting	Jul.,1996
4	Mr.Pichet Pentrakul	42	Director	Intellectual Property Information Center	LL.B (Law)	Aug.,1996
5	Mr.Vichaya Wangpakapattanawong	40	Computer Scientist	Intellectual Property Information Center	Bsc.Computer Science	Apr.,1996
6	Ms.Onsiree Nooprom	40	Deputy Director	Intellectual Property Information Center	Bsc.Chemistry	Aug.,1997
7	Mr.Somsak Liengkaewpratum	38	Policy & Planning Analyst	Intellectual Property Information Center	LL.B.(Law)	Oct.,1997
8	Ms.Ornsuang Sutirasakul	28	Computer Scientist 5	Intellectual Property Information Center	M.CS.Computer Science	Sep.,1995
9	Mr.Verasak Maiwatana	42	Deputy Director	Examination Div. 1 (Patent)	Bsc.Physics	Sep.,1995
10	Mr.Chaiyon Anupuppan	36	Senior Patent Officer	Examination Div. 1 (Patent)	Bsc.Chemistry	Dec.,1988
11	Mr.Vichit Padtaisong	25	Patent Examiner	Examination Div. 1 (Patent)	ME (Electrical Engineering)	Jan.,1997
12	Mr.Somchai Kijisrichareon	44	Deputy Director	Registration & Documentation Div.	LL.B.,MA (Law)	Aug.,1996
13	Mr.Pattanasak Tangtechanon	50	Legal Officer	Registration & Documentation Div.	LL.B. (Law)	Aug.,1996
14	Mr.Chanchai Neerapattanagul	31	Patent Examiner	Examination Div. 1 (Patent)	ME (Electrical Engineering)	Oct.,1997
15	Mr.Chappon Rochanasena	30	Legal Officer	Technical & Planning Div.	M.CJ. (International Law)	Apr.,1998
16	Mr.Pakainay Leng-ee	31	Public Relations Officer	Technical & Planning Div.	MA.(Marketing)	Mar.,1998

	氏 名	95			96				97				98				99				00	
		II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	
1	Mr.Pilun Bhanich Supapol																					
2	Mr.Chumpichai Svasti-Xuto																					
3	Ms.Narumon Srikumklip																					
4	Mr.Pichet Pentrakul																					
5	Mr. Vichaya Wangpakapattanawong																					
6	Ms.Onsiree Nooprom																					
7	Mr.Somsak Liengkaewpratum																					
8	Ms.Ornsuang Sutirasakul																					
9	Mr.Verasak Maiwatana																					
10	Mr.Chaiyon Anupuppan																					
11	Mr. Vichit Padtaisong																					
12	Mr.Somchai Kijririchareon																					
13	Mr.Pattanasak Tangtechanon																					
14	Mr.Chanchai Neerapattanagul																					
15	Mr.Chappon Rochanasena																					
16	Mr.Pakainay Leng-ee																					